京城日報
廿九日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼印刷人 奥山仙三

◎李烈鈞擧兵

第二次革命の重鎭李烈鈞は時事益々非なるを觀取し北伐を聲明して遂に擧兵せり多分麾下の手兵を提げて直ちに福建省を衝かんとするものゝ如し（上海電報）

◎信教自由法案保留

露國内務省は信教自由法案を保留したり（露都電報）

◎西班牙の革命警戒 憲法上の保障停止

西班牙內閣會議は憲法上の保障を停止するに決し首相は宮中に參內して國王に對し勅令發布を奏請せり當局者の陳述に依れば千八百七十三年の革命動亂以來今日を以て憲法の保障停止を最必要とするの時機と認む道は不逞の徒が動亂を煽動し一部の新聞紙が社會秩序の根柢を攻擊して軍隊の軍紀を紊亂せしめんと企て西班牙は今や革命の機熟したりと報じつゝあるが爲めなりと政府は檢閲を開始せんとしつゝあり（倫敦電報）

◎米遠征軍佛國到著

二箇部隊よりなる米國遠征軍は二十七日無事佛國某地に到著上陸を了せり（巴里電報）

◎亞爾然丁對獨斷交 兩國の危機切迫す

亞爾然丁は獨逸との國交を斷絶せるが其理由は同國汽船タローロ號が獨逸潜航艇の爲めに擊沈せられし結果にして今や兩國の危機切迫せり（紐育電報）

◎不信任案運命

二十八日を以て議會に提出されたる憲政會の現內閣不信任案に對し憲政會は全部及び純無所屬團の一部贊成すべきも其數は百三十名內外たるべく百名以上の差を以て無論否決さるべし（東京電報）

◎書面答辯反對

寺內首相の議會に於ける答辯が書面にて答辯されんとする事に對し政友國民兩黨にも反對あり結局各派交渉會問題となりたりと（東京電報）

◎反對懇親會

二十九日午後五時より現內閣反對懇親會を築地精養軒に催し武富、尾崎、河野、箕浦、高橋、押川諸氏の演說ありて政府反對熱を昂げんとしつゝあり（東京特電）

◎警官增俸案提出

諸物價騰貴し生活難益々加はるより大阪府の警官は增俸案を府參事會に提出せり（大阪特電）

◎三浦大佐來鮮

築城本部員工兵大佐三浦義幹氏は二十九日朝入港の櫻丸にて釜山著同十時三十分發列車にて元山に向へり（釜山特電）

◎川上東拓理事歸鮮

東洋拓殖株式會社理事川上常郎氏は二十九日朝入港の櫻丸にて釜山著同十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎慶北挿秧著手

大邱附近は二十七日より斷續して降雨あり雨量六十七粍三に達したるを以て農家は二十八日より稻の挿秧に著手したれば七月四五日頃迄には九分通りを終るべし（大邱特電）

◎上院常任委員

二十五日貴族院各部常任委員互選の結果は左の如し（東京時信）

▲全院委員長 德川賴倫

▲第一部（資格）寺島誠一郎（豫算）川村純太郎、石黑忠悳、久保田讓、江木千之、目賀田種太郎、中島永元、美馬儀一郎（懲罰）四條隆平（請願）秋月種英、新庄直知、南岩倉具威、江藤秀六（決算）大津淳一郎、西大路吉光、野村益三、鈴木總兵衛

▲第二部（資格）神山光孚（豫算）稻垣太祥、小松謙次郎、[illegible]、仁尾惟茂、橋本圭三郎、伊澤多喜男、高橋作衛（懲罰）[illegible]（請願）尾崎三良（決算）[illegible]

▲第三部（資格）富井政章（豫算）酒井忠亮、八條隆正、高橋是清、[illegible]、鎌田勝太郎、橋本辰二郎、木本倉二（懲罰）[illegible]、荒川義太郎、田島竹之助（決算）若王子文健、內田正敏、中溝德太郎、北大路信明

▲第四部（資格）山脇玄（豫算）小澤武雄、服部一三、三島彌太郎、阪谷芳郎、小早川四郎、石黑五十二、前田利定、村上敬次郎、鍋島直映、藏田龍顯（請願）東條英教、[illegible]（決算）長崎省吾、平野長祥、木田親貴、佐藤友右衛門、安立綱之、高崎三郎

▲第五部（資格）藤原保寬（豫算）吉井幸藏、樋口誠康、前田利定、村上敬次郎、鍋島直映、藏田四郎、溝淵吉之助（請願）酒間昌言（決算）[illegible]、東坊城德長、今城定政、千秋季隆、石橋雄二

▲第六部（資格）河村讓三郎（豫算）青木信光、榎本武憲、高木兼寬、鍋越光之丞、安場末喜、藤堂高成、石渡敏一（懲罰）山口弘達（請願）酒井忠篤、松平直德、三宅秀、荒井泰治（決算）二條正麿、渡邊千冬、小野光景、松尾臣善

▲第七部（資格）澤田牛麿（豫算）井上匡四郎、堀田正恒、山內長人、宮原二郎、田中源太郎、森田庄兵衛、安田善三郎（懲罰）伊集院兼知（請願）德川厚、鳥尾光、德大寺則麿、佐々田懋（決算）立花種忠、[illegible]、大矢馬太郎、井芹經也

▲第八部（資格）柴田家門（豫算）吉安純、堀河護麿、伊東祐弘、武井守正、押井九八郎、阪本釤之助、細谷五郎、[illegible]（懲罰）[illegible]（請願）[illegible]（決算）[illegible]、杉浦甲之助、二郎、鍋島榮

▲第九部（資格）鎌田榮吉（豫算）林博太郎、小野田元熈、藤井包總、本多政以、黑田長和、石橋德作、和田彥次郎（懲罰）細川潤次郎（請願）細川護立、伊丹春雄、福原俊丸、星島謹一郎（決算）毛利高範、吉田清風、外松孫太郎、東郷安

◎總督滯京豫程

長谷川總督は釜屋武官、神田秘書官等を隨へ李王殿下を下關に御見送り後同夜發直行東上二十九日午後八時東京驛に歸著の筈なるが總督は政務打合の爲め當分滯在し來る七月末頃歸任せらるべしと

◎政務總監參候

山縣政務總監は二十九日午後三時遠藤秘書官陶山通譯を隨へ昌德宮に參候し李王殿下御著京後の御機嫌を伺ひ退出したり

◎定例長官會議

總督府にては二十九日午前九時より山縣政務總監、宇佐美內務、小原度支、持地各長官、久水、荻田等各局課長出席し通常政務に關し例會を開き正午過散會せり

◎遞信局の會議

遞信局に於ける主要郵便局長、海事出張所長會議の第三日は二十九日同局會議室に開會日程により午前局長午後所長技師會議を行ひ四時散會せり

◎李王御禮電奏

李王殿下は二十九日午前九時閔李王職長官を總督府に差遣し山縣政務總監に對し左の意味の御禮執奏方を在京中の長谷川總督へ電請せられ度旨御依囑あり政務總監よりは直ちに總督に宛て發信したる由

今回親しく拜謁し御禮の爲め東上參趨したるに殊に優渥なる聖旨に依りて非常の恩遇を蒙り恐懼感激措く處を知らず昨二十八日途上無事京城に歸著せるに就き謹んで深厚なる御禮の意を表す

尙皇后陛下並に皇太子殿下に對しても同じく御禮の電報執奏方同樣御依囑ありたりと

◎貴族の謝電 寺內首相に對し

李王殿下御東上に付朝鮮貴族一同より二十八日寺內首相に致せる電文左の如し

今回李王殿下の東上に當り當室の格別なる御優遇と云ひ又一般の盛大を極めたるは一同歡喜措く能はざる所なり殿下本日御機嫌麗はしく御歸還あり一同は茲に謹で閣下の終始御懇篤なる御盡力を感謝御禮申す

◎對支投資は組織的たるべし

興銀副總裁 小野英二郎氏談

歸東の途にある同氏の車中談に曰く

▲渡支の用向 支那旅行の用向は興業銀行で從來從事して居る對支放資をやつてゐるから其の模樣を見又今後投資に關する豫備的調査をする爲めにあつた、朝鮮を通過して北京に入つたのは五月の十二日だつたが其の前後より支那は例の內爭が紛糾を極めた爲め、旅行したい人にも旅行へなかつたり、調べたい事も調べ得ず、只今歸東の途に就いてゐる、滯支中は主に北京に居たが其間約二週間を費やし南京上海漢口の中部支那の視察も行つて來た

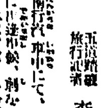
▲對支投資の銀行團ですか、從來興銀が提携してゐる鮮銀及び臺銀との間に形を具へた支那借款引受の銀行團を作るか怎うかと云ふ事はまだ確言出來ぬ、然し支那に對する放資は系統的組織的でなければ面白くない、之れは對支活動を盛んにし其の勢力を張る上に於て頗る必要である、又目下支那側から若々の方に申込んでゐる借款は可なりある其等に關する用件も此の行いくらか帶びてゐた、然し今日の如く支那の政治的狀態が不安で混雜してゐては其の種の借款交渉の如きは、到底危險で進められない、之れは鞏固な支那新政府が出來て國內の狀態が安定するまで延引するの外はないのである今期議會に興業銀行法の改正案が提出され、支店や出張所を置き得るやうになるから

▲北京にも一店を置かねばと云ふのですか、どうもお答へに困つたね、或はさうなるかも知れぬが歸東せないと判らない何しろ永く田舍を左右に託するも其の詳細より綜するに働いてゐるのではなく北京へ興銀の一機關を設くる事は斷わらぬ所らし、一轉支那の政局攪亂に入る支那の政局は到底日本人や西洋人の常識では判斷が出來ない予も北京滯在中色々の觀察をやつて見たが見當が狂ふ、それも其の筈公使館などに行つて何彼と聞いても當面の事件の眞相を觀破する事は難づかしいやうだ、それ丈け局面の轉回變移が烈しいのである五月二十三日頃北京の風雲を觀望してゐると、今にも四百餘州は砲煙に埋められ、北京の如き兵火の巷となるに非らずやと思はれたが、事實は案外平靜である、こゝらが支那人の心理狀態の吾々と異つた所であらう、予は此の二十五日奉天に出たが、政局は兎に角張勳督軍の肝煎りで困難な總理を

▲李經義氏が引受くるであらうと云ふ事であつた、然し北京の風雲は先づ收まつたと云へるかと申せば、予はさう思はぬ、まだ／＼若干の紛爭と曲折は起るものとせねばならぬだらう、由來支那中央政府の權力勢威と云ふものはどうも地方には多く及ばぬらしい、從つて北京が頗る騷いでも地方は案外靜かであり、北京の政局收拾されたと思つても地方の督軍は勝手な行動をやらぬとも限らない、此邊が首尾一貫せる日本と餘程違ふ、それから支那北部各省の氣候は甚しい或は其の旱魃が饑饉を生み、饑饉が兵亂を招くば何等かの騷擾を惹起しはせぬかとも慮かるゝ、今後の天候の如何により餘程注意を要する事態にあるやうだ、北京を去り奉天を見物して朝鮮に入つたのです、奉天は明治四十二年渡歐の際一巡した事がある、當時今の新停車場附近は草原で

▲城內の支那街も不潔を極め、商家も大して繁昌してゐたんだ然るに今回諸方面を視察して見ると日本人街もドシ／＼出來てゐるし殊に城內は清潔となり店頭裝飾の綺麗やかにして其の繁昌の著しいのに驚ろいた、之れは僅かに日本の息がかゝり出してからの現象と思ふ、滿洲に日本勢力の侵入後、支那人の繁盛され發達した結果であると考へらるゝ、結構な次第だ、朝鮮は今回の旅行が初見參である、予は治績の開拓豫想外に進めるに一驚を喫した、二十八日の午後は京城各方面の視察を行つたが街路整然として市區改正の堂々たる總ての都市的經營の進める事は讚賞に値する、生命財產の安固交通の整備到る所鮮人が其の堵に安んじて家業に營しんでゐる狀態の如き之れを一昔し前の朝鮮を知れる外國人が突如入鮮して目睹したら如何の感を成すであらうか、總督政治の成功は何等の議論を要しない、儼乎たる事實が之れを明證してゐる

湖西より



五道踏破旅行記者 李光洙

◇六月廿六日朝南行汽車中にて、偶然島村抱月松井須磨子一行に出逢申候、劇を通じて滿鮮支那の將來に就て意見を承はり得る所尠少ならず候。

◇一行は仁川より木浦へ向ふところにて、須磨子は非常に疲勞を感ぜるが如く、[illegible]の場所を探し候。抱月氏は[illegible]、須磨子の[illegible]に[illegible]の一睡も貪られ候。[illegible]の可愛い[illegible]は[illegible]しい眼を閉けては[illegible]つまらなさうに[illegible]を眺め候。

◇[illegible]の初めには[illegible]に[illegible]、[illegible]なる感じを致候。[illegible]

何となく可笑しくなる位に候。實際にて一寸一行の顔を見れば何れもシベリヤの夢でも見て居るらし、默して一行の前途を祈り、小生はプラットホームへ出で、公州行の自動車に搭乘致候。抱月に一行に別れしは案外の拾物をして大いに喜び候。

◇自動車は砥の如く坦々たる公州街道を疾風の如く走り候。朝鮮が斯くの如く立派なる道路を有するに至りしは欣快の至りに候。唯道路に比へざるは、赤き山、涸れたる河、みすぼらしき家屋にて候。一日も早く總てを彼の道路の如く、立派なるものに致し度きものと存候。吾人の緊務は中、大いに奮勵努力すべき所に候はずや。徒らに己の利益のみを漁ることなく、大なる所に眼を付くる有志の多く見はるゝを望むや、旱天の雨と共に切にて候。

◇二十五年計畫にて植林事業を完成する豫定との事に候へ共、民間の自覺努力無くしては、到底成功は難かるべしと存せられ候。機會ある每に朝鮮人に植林思想を鼓吹する事は急務中の急務に候はずや。

◇殊に忠淸南道の山は、甚しく禿げて居る樣に見受けられ候。彼の赤き山、砂のみの川を眺むれば、アラビア、アベルシヤ等の不毛の地を聯想して轉た悲哀の感に打たれ候。今にも山の蔭より、駱駝の群がのろ／＼と見はるゝかの如く思はれ候。

◇河川の形狀より見れば、元は水量も少からざりしが如く推想さるゝが恐く森林の全滅と共に、河水も全滅したるらしく思はれ候。二十五年後に彼の山々が森林にて覆はるとせば其の時は河川も復活するならんと、其の時のみいと待遠しく候。

◇三四年前までは江景より公州まで石油發動機船が通航したる由に候へ共錦江の水量愈々減少し、今日にては雨季を除いては、小舟の通航さへ不可能の有樣にて候。此の分にて行けば、數百年後には、錦江の如き大河も、一の砂のみの河に化し終る運命を免れざるやも知れず。五百年の虐政は、遂に山河をまでも枯死せしめたるかと思へば、慄然として身に粟立つを覺え候。

◇山城公園の蒼翠を眺めつゝ、錦江の渚流を渡りて、二千年の古都たる公州に入りしは、正に廿七日午後一時半、此れより道廳其他諸官署を歷訪し、次いで附近の勝景を探ぐる豫定にて候。匆々不一（公州にて）

◎軍司令官歸任

西鮮地方に駐劄する各部隊檢閲狀態及び地理實地調査のため出張中なりし秋山軍司令官は松井參謀野津副官を隨へ二十九日午後七時三十分龍山著列車にて歸任すべし

◎城覆審法院長歸任

京城地方法院春川支廳事務巡視の爲め出張中なりし城京城覆審法院長は二十八日歸任せり

◎勅使河原院長歸任

春川支廳事務巡視の爲め出張中なりし勅使河原京城地方法院長は加平を經て二十九日歸任せり

◎小野副總裁

日本興業銀行副總裁小野英二郎氏は二十八日午前八時南大門驛著列車にて入京鳥居鮮銀理事の案內にて市中各方面の視察をなし二十九日午前八時三十分發列車にて南行歸任したるが停車場には大田鮮銀理事中村局長以下高級行員其他知己の見送りありたり

◎八頭取觀察

向鮮の途中の二十八日夜入京せし紐育國立商業銀行副頭取ハッチンスン氏一行は廿九日午前十一時朝鮮銀行を訪問し星野鮮銀理事の案內にて景福宮、昌德宮、監獄、公園等を視察したり

◎森安東領事出發期

新任安東領事森安三郎氏は二十九日午後九時四十分南大門驛發列車にて出發

◎川上理事歸任

過日實父病氣の爲め急遽福岡大學病院に赴き看護中なりし川上東拓理事は二十九日午後九時南大門著列車にて歸任す

◎鮮銀の局長招待

朝鮮銀行にては二十九日午後七時より入京中の各主要郵便局長、海事出張所長を主賓とし遞信局持地長官以下主要職員を花月に招待し盛宴を張れり

◎八頭取招待

鮮銀にては廿九日午後七時より入京中の紐育商業銀行副頭取ハッチンスン氏を千代本に招待し純日本式の饗應をなせり

◎若葉會例會

京城官民壯年者を以て組織する京城若葉會は三十日午後七時より花月に於て例會を催ほす由なるが當日は會費二圓とし來會者は浴衣掛けにて打寬ろいで充分若い所を發揮すべしと云へば盛會を見るなるべし尙ほ前回出席者以外に出席希望の向きは三十日正午までに花月へ申込まれたしと

◎辭令

二十五日附を以て左の通り辭令ありたり

陞敍高等官三等（各通）
- 總督府事務官 久芳直介
- 總督府醫院醫官 坂井清
- 總督府府尹 竹崎六次郎
- 同 通譯官 武田衛
- 同 府尹 楠野俊成
- 同 技師 野口耕一
- 同 醫院醫官兼醫學專門學校教授 植村俊二
- 同 府尹 金谷充
- 同 稅關長 矢鍋永三郎
- 同 道事務官 深尾道恕
- 同 道事務官 須藤素
- 同 事務官 水口隆三
- 同 平壤高等普通學校長 田中玄黃
- 同 京城高等普通學校長 岡元輔

陞敍高等官四等（各通）
- 總督府鐵道局技師 渡邊應次郎
- 同 鐵道局技師 永屋昌雄
- 同 同 上山武熊
- 同 警察官署技師 兒島高里
- 同 醫院藥劑官 吉木彌三
- 同 道事務官 松本誠
- 同 臨時土地調査局事務官 佐瀨直衛
- 同 同 伊藤清
- 同 同 尾崎虎一
- 同 警視 板東義雄

陞敍高等官五等（各通）
- 總督府鐵道局參事補 若曾根富五
- 同 中央試驗所技師 小山一德
- 同 鐵道局參事補 堀井儀作
- 同 警視 永野清
- 同 技師 關口鯉吉
- 同 臨時土地調査局事務官 山崎昌太郎
- 同 同 高武公美
- 同 事務官 木島駒藏

陞敍高等官六等（各通）
- 總督府慶州公立農業學校教諭 福島百藏

陞敍高等官七等
- 總督府判事 大友歌次
- 同 同 竹村昌計
- 同 同 田中芳春
- 同 檢事 村上清

陞敍高等官三等（各通）
- 同 判事 栗原忠恕
- 同 同 藤木永吉
- 同 同 伊東淳吉

陞敍高等官四等（各通）
- 同 典獄 芋川正義
- 同 判事 三矢正董
- 同 同 及川源五郎
- 同 檢事 禰田豊喜
- 同 同 鎌田三郎

陞敍高等官五等（各通）
- 同 判事 盧興鉉
- 同 同 李恩正

陞敍高等官六等（各通）
- 總督府判事 石用鎬
- 同 韓共錫

陞敍高等官七等（各通）
- 同 郡守 金泰興
- 同 同 田德龍
- 同 同 池富達
- 同 同 李應植
- 同 同 閔元植
- 同 同 李鍾殷

陞敍高等官六等（各通）
- 同 通譯官 渡邊慶次郎

陞敍高等官五等（各通）
- 同 港務醫官 壬生一夫

◎奥田陸軍倉庫長

朝鮮陸軍倉庫長奥田角四郎氏は釜山同支廠狀況視察の爲め七月三日來釜し五日歸任の筈なりと（釜山）

◎硬質陶器愈出願

石川縣硬質陶器製造株式會社々長松風嘉定氏及び同社重役一同の發起せる朝鮮硬質陶器株式會社設立認可の申請書は廿八日附を以て釜山府廳に提出したるが同社は資本金一百萬圓にして株數二萬株の中發起人贊成者に於て一萬三千七百株を引受け居れるを以て一般公募の株數は六千三百株なりと而して本社及び工場は釜山牧の島に設け第一回拂込廿五萬圓にて事業開始の筈なりと（釜山）

人事消息

▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦商業會議所會頭）二十九日朝入京龍尾へ
▲天野群山府尹 同上
▲松岡直温氏（實業家）二十八日夜入京天眞樓へ
▲中村忠七氏（三井社員）▲飯田助吉氏（同）同上
▲加藤條作氏（古川社員）同上
▲原敬二郎氏（三井社員）▲杉野茂吉氏（同）同上
▲蒲野成雅氏（小布施鑛業會社技師）二十九日朝退京
▲北尾榮太郎氏（古阜水利組合長）二十九日朝入京山本旅館へ

平素よりも御健康に

◎李王殿下この度びの御東上は
—併合當時に賜はりし明治大帝の御詔勅の旨を體現したるものなり—
侯爵 尹澤榮氏談

李王殿下が東上 天機を奉伺せんと思召し立たれしは三四年來の事なりしも殿下には

▽常に御宿痾 に惱み居り給ひしを以て其の意を果す事を得ざりしが今回愈々東上して親しく 天機を奉伺し得たる事は最も欣幸とする處なり且つ李王御東上に對し宮中の御優遇は元より内地の朝野擧つて誠心誠意殿下を歡迎したるは

▽吾々の感激 措く能はざる處一千萬鮮人の共の感を齊しくする處なり之れ日鮮兩民族の融合を具體的に實現したるものにして國家の爲め慶賀に堪へざる處なり李王殿下に於かせられては長途の御旅行に拘はらず聊かの御疲勞もなく却つて平素よりも御健康に渡らせられたり予は貴族の

▽内地觀光團 の際には病氣を以て加はる事能はず御大典の際には喪に服し居たるを以て内地の土地を踏みたるは今回始めてなるが其の文化の進歩は予が想像の數百倍にして今一々其の例を擧げて述ぶる事能はず殿下に於ても其の文化の發展には深く御興賞遊ばされたり予は參内して

▽天皇陛下に 拜謁し旭日大綬章を拜受したるは一門一身の光榮之れに過ぎたるは無し。今回李王の御東上は併合當時下し賜はりし明治大帝の御詔勅の旨を體現したるものにて今後内鮮人は益々融和して齊しく力を協せて聖恩に報ひ奉る事を心懸くべきなり

偉勳ある佛軍の飛行中尉 墜落して敵の俘虜となる

最近の公報に依ればロビンソン中尉は俘虜となりてカールスルーヒに在りと（倫敦電報）

ツエッペリン飛行船擊墜の偉勳者として知られたるリーフ、ロビンソン飛行中尉は戰闘中墜落負傷して敵の俘虜となれり右に就き中尉の妹は語りて曰く『佛國に在る航空隊長よりの書信に依れば佛軍の俘虜となれる一飛行將校は兄ロビンソン中尉が捕へられたる由を語れり該書信中には負傷の如何に就き何等の記載なきも五日前に到着せる佛軍前線の塹壕に在る友人よりの書信には敵の一機は我塹壕の上空に飛來り戰死せる敵飛行家を弔ふ爲の花輪を投下せり同時に一封の書狀をも投下せるが其文面に依れば兄は負傷後俘虜となりたりとあり以上は妾の知る總てなり』と猶

珍らしい朝鮮の鳥

☆☆☆朝鮮の至る處に棲む雲雀☆☆☆

◆カンムリヒバリ 鳴禽類中雲雀科に屬する小鳥である體色大さ共に概して普通のヒバリに似て居るが色は稍淡くて灰色を帶び殊に頭上に美しい羽冠があるので直に區別が出來る、初夏の候廣潤なる田圃が菜の花は黄に麥の葉は緑となると天空一碧片雲だもなく澄みわたりたる大空の一隅にヒバリが一點の黑痣となつて居るのを諸君は屢々眺められたことであらう、而して飛ながら普通のヒバリと同じ樣に清亮で急調子で囀る

◆雲雀と云ふ 名も告天子と云ふ名も皆中天で囀るから起つたもので學名でスカイ・ラークと云ふもこゝから起つて居る、兎に角ヒバリが大空高く舞ひ上つて居る姿を見ると何となく菜の花櫻の花躑躅の花など、共に初夏の陽氣な清調を感ずる、カンムリヒバリは又時によると地上でも囀ることがある、其の巢は麥畑の麥の株元とか又は草原の叢中に造ることとはよく諸君の知らるゝ所である、倭名抄に囀ること巢のことなどにつきよく

◆其の習性を 現はして居る『鳴時起ㇾ頭無ㇾ其聲圓充而連綿不ㇾ休晴日高飛戾ㇾ天舞鳴倦則飛下入ㇾ叢草中ㇾ夏月伏ㇾ耶於麥圃中』本種は歐亞の大陸殊に利加の北部等なかなか廣い區域に棲み、朝鮮にも至る處に棲んで居るが海峽一つ隔てた内地には居らないと云ふのは不思議な樣である、食餌は主に植物の種子であるが夏に於ては子供を哺育する爲に昆蟲を捕へる、英名をクレステッド スカイラーイと云ふ

◆世界に棲む 雲雀科の鳥は約七十種あつて主に舊世界に棲んで居る、朝鮮には此の中三種類棲む内地も三種であるが前述の如くカンムリヒバリは居らなくて其の代りに朝鮮に居らないハマヒバリと云ふのが居る、此の外にタヒバリ、キヒバリ等ヒバリの字のつく鳥があるが雲雀科の種類の鳥ではない

職工賃金値上を容れらる

大阪鐵工所鐵工職工は工賃の値上を要求し同盟罷工を爲さんとするの徴ありしが鐵工所は其の要求を容れて無事解決せり（大阪特電）

横濱に有菌鼠

神奈川衞生試驗場にては鼷鼠の檢鏡中黑死病菌帶有鼠一頭を發見せり之が爲め縣當局は發生系統の檢索に努むると共に防疫に關する大活動を起し嚴重警戒中なり（東京電報）

（上）京城各券番の大相撲總見
（下）支度部屋に於ける太刀山

暴民猖獗 支那軍隊出動

龍王廟附近一帶に於ける暴民益々猖獗を極め到底鎭壓の見込なしとの報に接し東邊鎭守使馬龍潭氏は二十七日午前同地へ急行せるが鳳凰城駐屯砲兵第一隊長も亦部下全員と砲二門を率ゐて出動せり因に鎭壓の爲め赴ける鴻黎察廳長は左肩に負傷せり（安東縣特電）

姑の家に放火

京畿道漣川郡々内面東幕里李氏（二一）は八年前同里任尙健に嫁したるも姑王氏に酷く當られ大正五年舊二月中夫と共に別戶を構へ同棲中尙健は無斷家出して行衞不明となりたるより一時實家李汝和方に歸省中同年五月九日王氏より痛罵されたるより大に恨み同月十二日夜王氏の住宅に放火して一部燒毀するに至らしめ遂に逮捕されて此程京城地方法院の公判に附せられたり

東京大相撲 好人氣の初日 各券番の總見

梅雨晴れの空水々しく晴れて壁々たる櫓太鼓の南山北岳を揺つて響き渡る二十九日明治町東拓空地に晴天四日間興行の事となれる東京大相撲はその初日を出したり

▲相撲場の内外 はキリンビールその他の旗幟り幟等にて美しく裝飾されたり、初日は京城各券番の總見ありて午前中より各券の綺麗首が三階棧敷にお白粉臭い首を並べゐたり、今年も昨年に劣らぬ景氣にて棧敷は

▲殆んど約束濟 みとなり、稽古相撲の終る正午頃には六分の入と言ふ素晴しき景氣を呈したり

▲烈しい朝稽古 稽古場には伊勢、黑潮、土州は張よ稽古熱心として知られたる敷島、紅葉川、清瀨川、若島等は早くより土俵に現はれ猛烈に申合ひたるがオン大太刀山も十時過ぎにその巨軀を現はし、嵐内連を相手に數番の申合ひを爲しその他入れ替り立替り盛んに打突かつてくる小相撲を手毬の如く弄びつゝ稽古をつけゐたる元氣はいかにしても來年引退を決したる人とは思はれざる程なりき

▲敷島會の總見 敷島のために京城各料理店有志は敷島會を組織し三日目頃に盛んなる總見を爲すべく鍋道樂主人、民中の女將等は專ら各方面に奔走しつゝあり

▲朝鮮人優待 勸進元並に協會にては朝鮮人に對して日本の國技たる角力の趣味の普及を圖るべく朝鮮人に對しては特に木戶場代三十錢均一にて觀覽に應ずべしといふ

△二日目の取組
（友の山（筑後川（矢筈山（小嵐
（四國洋（友渡（竹根松（國見崎
（荒玉（土州山（若島（伊勢濱
（太刀嵐（清瀨川（黑潮川（敷島
（紅葉川（太刀山

▲二日目日本社の番外お好み
紅葉川（小嵐）
若島（龍ケ濱）

酒の値が上る

大阪酒造組合にては七月中旬より清酒一升に付五錢の値上を決定せり（大阪特電）

血を見るまで 淪落女の末路

下關美人樓の抱へ娼妓五月が殺された、それも、深く想ひ込んだ對手の男から、不意に刺されて、無理情死の道伴れとなつたのである、五月は本名を結城いさ子と云ふ

『結城いさ子！結城いさ子！』此一語を聞くと共に私は飛上らんばかりに驚いた同時に私の頭腦の中に稻妻のやうに閃いた或物がある。頭腦の抽斗を掻き廻して古い手紙を探すやうに、過去の記憶を辿るまでもなく、私は正しく彼女を識つてゐる、識つてゐる計りではない、現に彼女と言葉を交はした事さへある—斯う云へば對者の職業が職業であるために、公言を憚るやうな淫らな關係でもあつたのだらう、と思ふ人があるかも知れぬが、決して然うではない、是は豫じめ斷つて置く—。

私が彼女を識つたのは、明治四十四五年の頃だから、もう大分古い、その頃彼女は榮山浦の『日の出館』といふ料理屋に居た、榮山浦は木浦と光州の中程にある小さい町だが、當時は木浦から光州へ、光州から木浦へ上り下りする交通の要路で、兩地の間を往復するほどの者は、何うしても此處で一泊せねばならぬやうに出來て居た。

從つて、土地の料理屋も是等の旅客によつて繁昌し、陽氣な三味の音は榮山江のゆるやかな流れと共に殆んど間斷なく新開の街々に漂ふたものだ。

私が木浦に下るべく、光州から榮山浦まで七八里の凸凹路を揺られ〳〵て、漸く此地に辿り着いた晩、友人から見せられた(?)のが、この『結城いさ子』である。色白の圓顏、夜叉の釉のやうに肝盛の厚いのが、特に目についたが、杉々した漆のやうな髮をハイカラに束ねた處は、眞に初々しいもので、酌婦といふよりは、寧ろ處女のやうでもあり、又深窓に育つた令孃のやうでもあつたそれ程『淪落の影』—と云つたやうなものは、彼女の何處にもまだ見られなかつたのである、當時は確か齡を一六と呼んで居たやうに記憶する。（つゞく）

讀者文藝（一等に五十錢…）

△節めゑ 仁川新町一 松洞

○玩具（一等）

▲佳作 京城醫官、鈴山荼加平、釜山 木村喩一、京城龍峪枝、仁川 エフテイ生、京城森、杜鵑 井、龍山岡崎さだ、京城日 生 龍山朴念仁、龍山不關 廣州月洲史、京城田中はか、

▲次回題 上圓の通り

疑似患者は陰性

京城古市町住吉川たつ（二）は二十七日朝來しきりに吐瀉を爲し明治町川崎醫師の診察を乞ひたるに其の症狀虎列拉の疑ひあるを以て同醫師より日本町警察署に屆出川々見囑託醫立會の上便を三淸洞檢査室に送りて檢鏡せる結果二十八日朝陰性と確定したり

◉金光教大獻式 金光教京城教會所にては例年の如く三十日午後七時三十分より大祓式を奉行し修祓祝詞玉串の奉獻式及び假鑑より納饗せる紙の人形に氏名年齡を記したるはらひつものは同夜漢江に流し納めの式を執行する由

◉連絡船上陸客 六月廿七日午前十時二十五分釜山入港さくら丸 和夫、…獨兵、… 辰野余市、渡我部郎、同しき、稻田さ北ひな、吉田米吉一郎、張仁成、高天吉 十二名

イヂス、ボスパチスキー、英國人ボーン、露國人ボリダノフ、同夫人 名須々木林矢郎、伊加倉光子、山島さく、同仙吉、阿川甲一、山崎高門、飯田源三、伊藤谷次三郎 小

六月廿八日午前九時二十分入港新羅丸 一二等客 一等（三名）佐々木朝太郎、鹽仲吉、英國人イ… 十八名 十分入港對馬

【讀者文藝】課題募集規定 同形の洋… 提名の… は一週… 更上…

▲川批は過… に紙上の雅號又名明記の事 の號る時に用 …句…

天氣 曇り時々晴れ
▲六月三十日（廿九日午後六時より三十日午後六時迄）

商況

東京公債直取引（廿九日出來値） 五分特別 九〇、五〇 五分利 … 一二回四分 … 甲號五分 …

深川在米特電 二十九日現在高 …

東京期米特電 二十九日前場 八月限 付値 寄 高 安 止 …

大阪三品特電 二十九日前場 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 …

大阪期米特電 二十九日前場 當限 中限 先限 寄付 …

下關期米特電 二十九日前場（順押日限） 受渡七四五〇石 …

雜報

◉綿糸布新高値 突飛の傾勢に加へて米棉一層高の前日を入れ人氣又々熱狂し三品も限は二百九十九圓九十九錢と更に新高値に騰貴して遂に三百圓臺を突破 せんとするの勢ひとなり綿布又

龍レー現物十圓三十錢の新値を出し綿糸現物は平均十六手二百八十二圓十手二百六十五圓の入電あり

◉運賃高の石炭 鐵路石炭輸送少く一般貯炭乏しきが上海經運賃の九州炭の移入割高に當る事となれり而して計算するに從來に比して鐵道運賃八十圓高鮮内持約賃應止のため三十錢節賃增により最近七十錢と合計賃に一圓八十五錢を加ふる事となれるが船運賃は今後なほ騰貴すべき見込にて一圓以上に達するも遠からじと思はるれば秋以後の需用期には結局從來より噸一圓以上の增運賃に當るのみか内外炭界に高値を呼ぶに到らむ形勢なるが目下京城朝鮮炭約需用期近に四千五百噸あり需用期近につれ復た動搖せむと危ぶまる

◉苛性曹達小締る 苛性曹達は過般日本會の製品五十錢下げをなし表以來銷路需要の一段落を俟つて三圓方下落し一面には在品も漸減なりつゝ手持筋は賣惜に於ける總合ひなりしが會社側に於ては最近五十錢高 をなし前後下げの分丈けを引戾したるより一時賣急ぎの向も稍や堅實となり又市中相場も會社値上の分丈け引戾したる模樣なり一部では百二十五圓内外なるも事實取引は百二十三四圓 に行はれ居れり

◉鮮魚鐵道初輸送 元山の鮮魚陸路内地仕向けの由は昨報の如く廣界未曾有の新計畫にして之が成否如何は直に水產物今後の配給 を左右する事とてらむか右に就き聞けば個數約八百個を以て…

◉…川批は…

京城正米 頃日來數次の雨に南鮮方面大半植附を了したるも尙局部未濟の地あり且つ黃海平安道方面は始ど不可能なりと傳へ今一大雨を望み居れるに頃日は却つて晴れとなりて殊部植附悲觀の際とて…三十一圓見當 なるが…

◉臨鯖は不味 …

◉白米は持合 …

◉需要も一層閑散 …打擊鮮内織物界に大 …

◉染料頗る閑散 …思惑買絕 …内地有力筋の …

◉輸出向海產氣丈 …元山割に到らしい水產界に新紀 …

市場零聞

▲保合小堅し …
▲月末に際し一投 續出に不勢 …
▲面利喰に値頃觀の買物多く反跳返し …
▲當限納會す 十三圓〇 …
▲二十九日前場（保合小堅し） 大阪天候晴 天…十七錢高の入電 押目は利喰に新規の買物多く依然保合の裡に手仕舞商内多き成行

仁川期米

▲期米目先觀 平安道未だ植付困難 京畿道黃海道 …忠淸道方面 …全羅慶尙 …正米界の情 …押目買有利

▲當限受渡高 …
▲成立一日より立會開始したるも…十八圓丁度以て納會 當中の商内は行はれず …

生魚市場

…

南大門の廻穀

…

釜山穀物（廿八日）

…

仁川米豆取引所

二十九日の八月限 寄付 … 前場 … 平均値段 … 賣買取組高 …

青物小賣相場

…

◆張勳を振り拔いた劉喜奎

支那劇壇の女優劉喜奎と稱せられ、女神の如く持て囃さるゝ劉喜奎の妙技と、其艶麗さは前の外交總長曹汝霖を首め、陸分派々の顯官に深草少將を極めさせたものだが、仲でも今度の調停將軍張勳は尤も熱心なるもので、徐州から屢々特使を送つて所望したものだ。併し彼女は張勳を毛蟲の如く嫌ひいつも與を横に振るので、さすが猪紙破りの張勳もこれには柴を衣し、其代り今回同伴した同じ美しい女優の王克琴と云ふを無理に召抱へ第二夫人とした之が關係から張勳の入京は劉喜奎に取つては何より恐しく、諸事の人氣を一人で背負つて居つた三慶園を三日目にして中止せしめ、一時治外法權なる公使館區域のグランドホテルに姿を晦ましたが、興業者の書入れ期たる端午の節句に近づきたる爲め、無理から引き出され再び三慶園に登臺する事となつた。けれども可憐の少女心あつてかなくてか、特に『梅占花魁』の狂言を選び名妓に扮して『身は落川竹の賤か女郎職されても、元は由緒ある良家の娘、何んで黄金や威力の奴となるものか』と頑張り居るには、流河沿邊の威力ある、觀女さんチツト心苦しき事であらう。寫眞は最近撮影の名女優劉喜奎の藝姿なり。

五月殺し　後聞のいろ／＼

二十八日午前七時平壌賑町美人樓抱へ藝妓五月事結城砂子の殺害せられた事件につきては昨紙報導の通りなるがサスガ名物女郎だけあつて午前十時頃には平壌全市に知れ亙り市内の理髪屋湯屋料理屋宿屋は云ふに及ばず會社銀行役所に至るまで何處も彼處も五月殺害談で持切如何に同人が娼名と艶名とを有し居りしか知るに足る記者は午前九時五月の抱主小林彌平を訪問せしにアーようこそお出で下さいましたとんだことが出來ました然しこれも因縁です只私は負をしみの強い學問もある五月が彼んな青二才の殳にかゝつて死によつたかと思ひますと

▲可哀想で殘念　ですことに當人の五月は彼男を嫌がつて居りましたのにとにかく恁んな小僧がと油斷をしたゝめにやられたものです然し私は詐寶の損得どころの話ではありませぬ只可愛想なことをしたと其れのみ悔しく思つて居ります實は彼松下淸一と云ふ男の初めて五月と關係したのは過ぐる二月の中旬でいつも玉代のみ排つて遊んだので今日まで二十六回ですことに一箇月程前に

▲五月が大同館　に轉籍するので金が入ると云ふたところが松下が己が多少の金を拵へてやるとか云つて其當時五十圓かの金を爲替券でもらつたさうですところが其後或日五月の他の客に出て居つたことがあつて松下に出ることが出來なかつたところ松下は非常に怒つて己を馬鹿にするな五十圓の金を返せとか何とか云つて喧嘩したことがありました其時五月は五十圓の爲替券を鏡臺の抽出から出して二つに引破りて之れを松下に返しました其時二人がやかましく騒ぐものですから私は五月を呼んで彼んな苦い男を欺しては可かぬやないかと注告しましたところ五月の云ひますのには彼

▲男が私に情死　をせよと云ふのですとかたりました私はこれを聞いて一層注意を加へて居りましたが其日は松下も歸り其後暫くは來なかつたのです然るに近頃になつて五回毎日一時間宛登樓して五月に逢つて歸りました昨日（廿八日）は午後七時頃に登樓して私の娘（六）を連れて江岸を散歩し八時頃歸宅して兩人寢についたのですが恁んなことになりました

殺した松下淸一

殺された五月

やブランデーのきつい酒を飲んで恁麼に飲んで醉うて大同江の河面で一おもひに死ねたら妾や本望だなんてお客の前でいつもいつもしやべつてましたが本當に蟲が知らして居つたしたつまり五月が油斷をしたのです先二人共死んだのですから惡む譯にも參りませぬ先葬式だけは立派にして弔つてやりますとは鬼の目にも涙

▲美人樓の仲居　の曰く彼妓は今年の二月頃から何だか死ね死ねと良く云ましたよいつもウヰスキーのでせうかいつもこの通り六つかしい本をたんと讀んで（机上の中央公論や冒險世界や其他婦人文學の書籍を指して）自分で

▲短册や色紙に　種々の歌などを書いてゐたがあれを思ふと如何にも可愛想な思に堪へませんよそれも好いた男にでも殺されるのなら成佛も出來ませうがふつてふつて居つた男に殺さるゝとは定めて殘念でしたでせう何でも餘程抵抗したと見えて五月の右手關節の梅干の下に貫通した創があります胸から顋から頭から

▲二十四ヶ所の　負傷ですものほんとに切られ與三郎の様ですもの某粹人は語つて曰く『サツ大した學問があつたではなしへたな發句や狂句位なところだが顋香るところが罪なく殊に俠氣に富んで然も情夫とは持たず誰れが遊びに往つても面白く相手になりよつたが殺された南鮮京城平壌と長い間隨分遊野郎をあやなしたが又隨分苦勞もしたであらうが一時美人樓には間迎の女が多い近頃君の方の新聞で書いてゐた牛田梅も元美人樓に居つたのだこれ等の者を抱へる小林彌平も一個の奇傑サ（平壌）

今が鯛の盛漁期　仁川灣内に從業　六十餘隻

仁川灣内に於ける鯛漁は六月下旬より七月中旬が盛漁期である本年は鯛の來遊極めて良好で六十餘隻の從漁船は何れも例年以上の漁獲物を獲た鯛の漁場は重に八尾島附近から月尾島附近にかけて灣内一圓であるが同魚は目下産卵期とて淡鹹兩水の接觸點に集まつて産卵するのであるから調子よく當れば一網數百尾の水揚げをする事も珍らしくないとの事である鯛は小骨が多い爲め一般に賞味されてないらしいが味ひは極めて宜く京城方面では相當に需要がある

傳燈寺詣で

銳敏な自己暗示‖羞恥の標な神經‖皮肉は哲學の結晶‖駄洒落の連發‖島が啾になり象になる‖原始人類の漁

午前七時仁川稅關棧橋に集合と言ふ通知に不安の一夜を過すと自己暗示と言ふ奴が銳敏に働いて定刻より數時間も早く眼が醒めた、今日計りは啓約の天地創造說を逆に行つて、神光あれと言ひ給はぬ裡に起き出たのであるから、さなきだに神の倦怠し給ふた土曜日の晩に創造られた人間の情なさ、未だ船發せざるに、疲態發して頭がガン／＼する此の時計りは眠帯の様に尖つた神經の所有者たる悲哀を沁々感ぜざるを得なかつた

◆一行四十數名◆　何分第二の國民の個性も思想も智識もみんな腰一つであしらつて行くと言ふ偉大な力を天職とを持つた教育家諸が狹い船にへし込まれて、氣焔を上げて江華島は傳燈寺へ繰り出すんだもの其の賑やかさつたら想像外だ　就中

◆天國に片足踏◆　み掛けて居るケー校長さアイ所長は『人生には皮肉は必要な者だ、皮肉や、頓狹や、滑稽や、洒落は皆これ哲學の結晶だ』と言つた風な見地から盛んな皮肉や洒落を連發する、此の時合人間の思想の糧てはアイロニイで膨れきつて居るから駄洒落にても、洗練されない皮肉にでも無條件に剌戟され易いので此の綿隙につけ込んだ兩氏の皮肉、又駄洒落は頗る爽快を極めつゝ時間を消化する、何の事はない

◆船は駄洒落で◆　全速力で進航してゐるのだ、船が進む程に仁川は漂渺たる靄霧に包まれて白い洋館の尖塔も見えなくなる、月尾島も永宗島其他の島々も綠の軟かい風さへの中にヘタバつた様に見える、趣を有つてゐる、斯うした畫面の變化に伴ふて

◆一々說明の勞◆　を執るのは萬石洞福田君で同君の說明に依ると造化は小さき島にも種々なる技巧を施してあるから觀方に依つては島が啾になり時になり、且つは馬の形や獸の形に見ゆるとの事だ、至聖の眼大なりと讃へ遂ひに近眼十五度の萬石洞の眼に及ばざる事頻しで啾も蛇も象も發見し得ないが流石はお醫師で耶蘇の様な神經が休まつたらしい、船が萬島附近に至ると けれであつた

◆鮫鱇網漁船が◆　鯛を漁獲して居た、船の上には幾十と云ふ赤銅色の原始人類が烈々たる白日に曝されて作ら漁網をして居る、流石にエデンの楽園で智慧の實を食べたアダムの血を承けた婦人連も此の光景に接してはイブの群を正視する事が出來なかつたらしい、船中ツーツと噂した時は耳の附根迄赤くなつて居た（續く—仁川黛波生）

嬰兒を殺して　死體を河中に投棄す

平安南道安州郡立石面催化里鄭婦人幽徳は去月十五日自宅に於て父無手を分娩し臍の緒を切りし上直に嬰兒を仰臥せしめ古布にて身體の全部を覆ひ放置したるため程なく嬰兒は呼吸を引取りたる後を同日午九時頃引

渚の砂

■女屋敷の曲者　東京下谷〔以下判讀困難〕

■無分別の女　〔判讀困難〕

■若者の酒狂　〔判讀困難〕

■新聞社へ遺書　〔判讀困難〕

■商技な白殺　〔判讀困難〕

■藤本支配人追悼會　〔判讀困難〕

灯ともし頃

▲李王殿下を下ノ關に御出迎へしたる政務總監は事務總長を伴ひ時間を繰合せて山口に出掛けられた▲林知事は大いに驩び湯田溫泉に招待して午餐を饗した▲席上京城での昔話に興が乘て宇佐美長官大與翁に連つの盃はがきが飛んだ翁のはがきには『此の頃は湯田の背田も蛙なく』との揮つた句もあつたさうな▲政務總監はあの體格であるから時に健啖人を驚倒せしむる事あるも無理なしとするも▲吉海總長が狹鴨々の如くして政務總監の饌を塵す底の大食に傍で見て居る林知事始終ハラ／＼して居た▲今度は御兩人して鰻のすしあとで梅干をムシヤ／＼遣て御座るので傍々擔り兼ね▲知事は鰻と梅干の食ひ合せは危險ですと警告を中立てゝも大丈夫食ひ合せなどで中てられるやうな御粗末の胃袋とは違つて居るから▲林知事も懸念に堪んので臨途車中の様子を探つて見るとさて何が名物の饅頭を二三十も平げて平氣で『幸氣さに饅頭喰て來を、紙で鳳返へす喫壺の蓋』など腰折さへ出來たと情報を聞いて林知事も吃驚の内にもやつと一安心したさうな▲大食と云へば廿八日列車が釜山より北進の途中へ▲政務總監の室に立花、吉海兩將軍始め宋子爵、三木理事等の人々落合ひ四方山の話が始つた總監は下ノ關から携へて來た枇杷の大きな籠を御馳走にと出された皆な一粒二粒賞美したが其の一と籠は三木理事が皆な見事に平げて終つた▲眼も身の內と云ふ事もあるのに之れには皆んな一驚されて終つた其處で又一首出來た『ピソ喰ふた三本の頭ピソに似てピソ光るピソあたま哉』

明君道中記　第百九十一席　田邊南龍口演

三宅宅兵衛は横田の道場へ入りまして三次に對ひ　宅『コレ三次貴様を寄つて來つて打据ゑた奴等片端から俺が打据ゑて敵を取つて遣るから其處で見て居れ　三『何分宜しくお願ひ申します　宅『此の男は拙者の同伴だ、不禮をしたによつて詫をいたす、それを背き入れずしてさん／＼打擲して溝へ打込むなぞは侍にあるまじき所業、拙者が代つて其方共の相手をいたす　金『偖は其奴の敵討に來たのか　宅『如何にも　金『其儀ならば汝を打据ゑて目に物見せてくれん後悔いたすな』突然竹刀を取て向ふへ廻るを宅兵衛は道場の隅に落ちて居た竹刀を取つてピタリと付ける、横野金次は眞向より喚いて打込むのを宅兵衛ヒラリと身を交したから空を打つて前にのめる處を隙さずピシリ頸筋を打たから金次は四ツ這になる、是を見て高野藤八『イヤ兄弟子を打居たな兄の敵』と打込で來る奴を引拂つて横に拂つたから脾腹を打れて高野藤八撞と仆れる、續いてかゝる齋藤仙太郎を肩に擔いて道場の羽目板へ打付けたからウーンと云つて仙太郎目を眩した、宅兵衛は道場只中へ突立つて　宅『サア相手は嫌はん誰なりと參れ』と云つたが此の勢に恐れて誰一人出る者が無い、處へ奥から飛んで出たのが道場の主横田鄕藏

鄕『何者なれば拙者が道場へ參つて狼籍を働く、此の上は鄕藏が相手をいたすから左様心得よ　宅『オー望む處である、鄕藏とやら早や參れ』と襷鉢巻股立を取つて横田鄕藏木劍を携へて蹈り出で一聲叫んだかと思ふと宅兵衛竹刀を取直して身構へた、上段より打下す、心得たりとハッシと受止めた三宅宅兵衛、素より劍道名譽の者なれば忽ち横田の木劍を其處へ打落し肩先を強かに打つたから鄕藏は拔の間へ四ツ這となる、宅兵衛是を見てカラ／＼と笑ひ　宅『何うだ三次藻から　三『イヤ恐入つた先生のお腕前、是で私の溜飲も下りました　宅『三次笑つて遣れ　三『ハヽヽと宅兵衛其儘三次を伴れて常陸屋十兵衛方へ引揚げました跡で道場の騒ぎは一方ならず、皆々を介抱して此の上は常陸屋方に居るとの事故大勢にて押して參り彼奴等を打据ゑて此の怨を晴さんければならんと弟子達を殘らず呼寄せ四五十人程／＼を取て常陸屋十兵衛方へ押して參りまする是を見て木鼠三次は大きに驚き　三『ヤア三宅さん横田鄕藏が大勢作れて押懸けて來ました　宅『何に大勢にて押懸けて參つたと、其儀ならば片端より打据ゑて追拂つて遣はさう』と宅兵衛居先へ飛んで出る、田村等平次も與に其處へ出でさア來イと待懸け

居ります、常陸屋十兵衛は大きに驚き早速御城内町奉行所へ訴へましたから町奉行の井上倉次郎手附同心三四十人を從へまして常陸屋十兵衛方へ出張になる、今打合ひに相成らうといふ處へ馬上で乘立つて參つたる井上倉次郎　井『双方共鎭れ、町奉行井上倉次郎であるぞ』と呼はりまする、流石は其の威勢に打れたか、横田を始め一同の門弟は後へ退る、宅兵衛宇平次の兩人も强て事は好まんから與々引退る、處へ奥より出て出なされたる長七郎、三次より始終を聞いて　長『汝等不禮をいたすな、予は駿河大納言忠長の息長七郎長頼であるぞ、了外いたすと發さぬぞ』是を聞いて井上倉次郎馬より飛下り大地へ兩手を突へ　井『是は／＼北の丸御者樣にございましたか、お出迎ひも仕らず恐入りました、是より城内へ御案内をいたしますれば御證來の儀を願ひ奉る　長『イヤ此度は內々にての旅行、決して城内へは參らぬから左樣心得よ、此の事は內間にいたせ』と仰せられました、松平長七郎殿が家臣等に手對ひをいたしたれば後日如何なる御咎があるか知れぬと追々の體にて引退る。

補血强壯增進の第一　純すっぽんノップ　京城西小門町　電話六六三番　横松館

ハンカチ　タオル　京城本町二　吉尾商店　電二四八四番

七月一日　舊五月十三日甲辰　本命五黄八方開大安

職工募集廣告
一、內鮮人製罐職工ヲ募集ス
希望ノ者ハ履歷書ヲ添附スベシ
仁川土木局出張所

開業御披露
拜啓時下益々御清穆奉大賀候陳者私事今般左記の所に産婆開業致し候に付何分御引立を賜り度先は開業御披露申上候　敬具
京城本町五丁目卅六番地
友枝マキ　電話六四〇番

東京株式取引所仲買人
沖野米三郎
東京日本橋區坂本町十八番地
電話長九三七・長二三八五
浪花長四六四四・長四六五七
振替東京一六六〇二番
電信略號（オ二）
○金融は近路は定期株式を買持すれば家屋土地よりも有利なり

演藝案内

京城壽町　電話七五八番　壽座
電話二六三二・六五三　黄金館　世界的大魔術師松旭齋天一總員六十餘名
電一一九一　御成座
早川演藝部　有樂館
櫻井町　電話八七三　大正館
京城壽町　電話一〇〇三　壽館

京城溫度

●子宮病が治らぬとは

▲子宮病の治療を誤まつて居る▼
▲治療の方法さへ好ければ難治でない▼

一口に子宮病といつたら、甚だ簡單に聞ゆるが其實種類は澤山で一々說明する事は容易でないから子宮病の最も普通の場合に付いて述べよう、素人がよく子宮病々々といふのは大抵子宮內膜炎の事である昔の漢方醫は白帶下と言たもので今も此名稱の方が通りがよい。世人はお婆さんや小娘に子宮病は起らぬ樣に思ふて居るので『あんな御婆さんが子宮病』とは』とか『小娘の癖に子宮病なんて』といふのをよく聞くが是は子宮病に關する知識を缺て居るから生ずる言葉で子宮といふ器官の有る以上は老幼を問はず子宮病は起るのである然らば

●**白帶下の容態** は何なものかと言に詳しく言へば急性と慢性の二種あつて多少違つた處もあるが先づザット惡寒が催し熱が出て、インフルエンザにでも罹つたかと思ふて居ると內股や腰の邊りに引ッ張る樣な痛みがしたり下腹が膨つて壓しつけられる樣に覺ね子宮にも少しの痛みはある、それから大便の通じが惡い癖に小水が頻りと出る樣な始末、さう斯うする中に薄い水の樣な下ものがあり段々重くなると卵子の白味の樣な濃いものが下り、そして此下ものは甚だ惡い臭がするから誰にもすぐそれと知れる斯うなると月經は多くなつて月經時には痛みを覺ね觸足は冷ね一寸買物にでも行くと歸りには呼吸が苦しく堪られないといふ風になる而して白帶下の人は頭痛が附もので又顏色の蒼いのは本病の特色それから食慾は衰へ身體が虛弱になり貧血起り精神は陰鬱になる、そして不養生するとか治療の方法を誤ると病勢が行つ戾りつして居る間に惜しむべし他界の人となることがある然るに婦人によつては白帶下は女の役だなど、輕く見る風があつていけない婦人は月經の外絕對に下ものしある筈のものでない、若しあればそれは病氣の結果である事を忘れてはならぬ次に

●**白帶下の原因** は何うかと言ふに月經前後の風邪、月經時の不攝生から起る事が多い、それから素人が藥を間違ねたり又素人でなくとも不熟練な醫師に子宮の診察を受けて其醫師が器械の使用が下手であつたりする爲めに此病氣が起ることがある、又產後乳を飲ませぬ場合にも起る併し此に最も注意すべきは淋病菌の混入る事である夫から受けた淋毒の爲に白帶下を起すものは世間に動々多い然し素人は淋毒が白帶下の原因であることを知らないものが多いそして不知不識淋毒を受けて白帶を起すのであるから淋毒を有する夫を持つ婦人は此點に付て十分豫防せねばならぬ猶白帶下は重くなると一命にも關する事は上述の如くであるが、よしんば死ぬの生るのといふ心配はないにしても白帶下は甚だ强い酸性を帶びて居る、精蟲を殺す力を有つて居るから白帶下は不姙の原因となるのである、それで身體に大した故障がある樣にも見ねないで子供の無いのは白帶下の結果が少くないさて此恐るべき

●**白帶下の治療法** はといふと第一に身體の安靜である特に發熱でもするなら可成仰向いて寢て居るがよい食物はなるべく滋養あるものを用ゐて血を增し辛い物、酢い物、酒類脂肪の多いものは避けるがよい最後に藥物療法に就て一言すれば、現今の所謂子宮病患者が子宮病の無治を喫するのは全く藥物の應用を誤つて居る爲めである治療の方法さへ好ければ、決して失望んべきものでない然らば何が一番完全な治療法であるかといふに勿論津村順天堂の自宅療法である津村順天堂の自宅療法は子宮內膜炎等に對しては內服藥と外用藥の兩方を併用するので誠に時勢に合た新しい療法である內服藥といふのは取りも直さず中將湯の事で中將湯には十數種の加減藥が有つて病氣の種類容態によつて加減調合してある。で子宮內膜炎に對してはその容態に合つた加減中將湯がある津村順天堂ではそれを第三加減と言つて居るそれから外用藥といふのは中將球の事で卽ち子宮坐藥であるこれは歐米藥界の新例に倣ひ諸大醫の實驗と弊堂多年の經驗とによりて最も完全にそうして最も有効に創製せられたる坐藥で此兩藥を併用すれば効能は內外相應じて一層確實となるのである猶子宮病血の道（ヒステリー）產前產後より起る諸病等婦人病一切の原因兆候及び其治療法は『婦人衞生手引』に於いて極めて丁寧深切に且何人にも分り易い樣文章も平易に記述してあるから婦人病患者には誠に絕好の參考書であるから是非取寄せて一讀するがよい

本書は東京市日本橋區通四丁目又は大阪市堺筋大寶寺町津村順天堂へ郵券二錢を添へて申込めば早速無代進呈する

法人登記公告
麻田地方金融組合 大正六年六月貳拾四日漣川郡百鶴面斗日里貳百貳拾貳番地洪暢燮組合長ニ就任
右大正六年六月貳拾八日登記
京城地方法院漣川出張所

體裁優美最新流行の **手帳サック** 見本は廿五錢を要す
學生銀行會社員諸君の必需品
◎特約店販賣店至急募集
大阪市東區仁右衛門町五一〇
製造發賣元 佐藤光太郎

範模 **牛乳**
ニウソ 石鹸 洗粉
場主 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 **東亞牧場** 電話五二番

在庫豐富 迅速確實
◎英國サミールオスボン製鋼會社關東代理店
◎英國アーサーバルフオーア製鋼會社特約店
東京市神田區東紺屋町一番地
井口鋼鐵商店
電話神田四〇九、六九七番 振替口座東京一四三八一番 電信略號（井セ）
歐米鋼鐵、純國產鋼各種

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 **朝鮮銀行**
振替貯金口座京城三三二番
電話（局）三三一、（局）三三二、六一三 一一〇六、一二六〇、一二六一 一六一三
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

書畫軸物へ
定價 大形金十二錢 中形金七錢 小形金三錢五厘 非石形 大罐金五十錢 小罐金十錢
各地藥店にあり 京城代理店 新井藥房

內科 小兒科 入院隨意
京城櫻井町 **池上醫院** （電一二七一番）

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 **石川醫院** 電話二七二九番 一三九〇番

車印機械油 輕重油 製造販賣
浪速グリース 西部朝鮮支那一手販賣
信濃電氣會社光線印カーバイト 一手販賣
本店 門司市露月町 電話五一五番
支店 青島市野山通 電話七四番
製油所 新潟市關屋大川前 電話三三番
岸商店
光線カーバイト南鮮一手特約店
福榮商會 釜山辨天町 電話三三九番

天下に呼號して

煙草代用の急を唱へ吾社初めて本製品を提供してより驚く可し〇〇〇〇ノ簇出したると全國に亘り百有餘種 然も吾社は**社會衞生**の貢獻を旗幟とし品質改善の努力決して他の企及を許さゞるものあり 昨年罹災の第一工場は却て**製造能率**を倍加し來り第二工場亦更に施設を加へ化學試驗部に於ては日日使用の原料を檢定し品質を統一し以て益江湖の期待に添はんとす 若夫吾社製品の特色消化滋養風味淸潔の**四大要件**に至ては世既に定評あり 各位倍舊の御愛用を冀ふ

森永ミルクキャラメル

顧問 藥學博士 丹波敬三
技師長 藥學博士 岡田春吉

森永製菓株式會社

C—19

京城日報

第三版

六月三十日 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢郵稅一ヶ月金拾五錢 … 京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 … 發行兼編輯人 … 印刷人 … 電話番號 …

下關期米相場 二十九日後場 …

▲二十九日後場 兵庫東京[illegible]前場 先十九圓十錢と四錢安に寄り二十三圓二十六錢の入つて[illegible]に二十錢と上寄し十六錢と[illegible]三錢と上伸したる折柄兵庫後寄二十二圓八十錢

▲保合下 復舊天濟[illegible]となり大阪[illegible]前場引[illegible]錢と寄付[illegible]も雨不足に[illegible]なるが十九圓十買物多く[illegible]十錢と上伸し更に二十三錢强硬を示したる折柄大阪後寄變らざるも[illegible]を受けて成行を示して[illegible]

▲軟弱 前日來の[illegible]納さに人氣大[illegible]大阪との[illegible]天候は稍々晴模樣を呈したるより是位の降雨にては到底本年の[illegible]立ちたり不知今後の變動如何

▲黄海道旱魃 同方面旱魃の[illegible]肥[illegible]が本日[illegible]より[illegible]に依れば前日來の降雨も[illegible]極めて少なく[illegible]付は未だ着手するの運びに至らず[illegible]甚しきは[illegible]の枯死[illegible]る狀態にて野菜の[illegible]

▲[illegible] 後場先限 … 九錢 … 三錢 …

▲冷洞[illegible]除從弟[illegible]德隣の所有にして[illegible]所在の土地七百十八斗落餘を自分[illegible]判に附せられたり

京城日報

李王殿下の東上と其の效果(下)

第三に、殿下の御東上に就て、吾人の更に讃謳せざる可からざるものは、朝鮮民族が文明政治の下に日本民族と同化し、一致結合の精神を具體的に徴象したること是れ也。併合以來、朝鮮統治の政策、著々其歩を進め、中央及び地方の行政制度を釐革して紀綱の振肅を圖り、司直保安の機關を完整して、一般民衆の生命財産を保護し、産業を奨勵して富源の開拓を促がし、教育を振作して人文の啓發に資し、一千有餘萬の民族をして新政の恵澤に浴せしめ、終に殿下の御東上を見るに至りたるものは、是れ豈短日月の間に朝鮮統治の實效を立證したるものにあらずして何ぞや。

[illegible]と雖も、朝鮮統治なるものは[illegible]に於て、其の成績を奏むたるのみを以て足れりとせず、朝鮮民衆をして精神的に日本民族と同化せしむるにあらざれば、兩民族の一致結合を期すること能はざる也。而して朝鮮民族が日本民族と同化し、政治に、經濟に、軍事に、教育に日本的色彩を帶び、日鮮兩民族の一致結合を促すに於て、至大なる感化、至深なる效果を與へたるものは、實に殿下の御東上を以て、新紀元を劃したるものと謂ふも、誰か之を不可なりとせんや。之を日本の古史に徴するに、太古半島民族が日本民族と同化したる史實は、班々として考ふるに足るものあり。由來、半島は、初めにして古三韓と爲り、次で高麗、百濟、新羅と爲り、次で百濟を統一せる新羅と爲り、新羅の後、第二高麗王朝と爲り、之に次で李氏の朝鮮と爲りて幾多の興亡盛衰を重ねたるを以て、歴史の複雜殊に太甚しく、其の國情民俗全く變化し盡して舊態を留めず、隨て太古の人種系を徴證するは、極めて困難なる事業なりと雖も、古傳が支那古史の一部分たるべく變形せられたるに拘らず、其の內容に於て、我が神代史の一部分たるの實質を存し、馬韓が天降族出雲系たる徴證明然たる所無く、其の古俗が純乎たる日本太古史的たること明了たるに於て、半島民族が日本化せる事實、掩ふ可からざるものあり。而して新羅の末葉、半島民族が一意唐朝の文明に心醉し、是より七八百年、日清役以前に至るまで、半島文明が全然支那化し終り、其の政治をして腐敗せしめ、民俗人情をして無味乾燥、一點の精氣無きに至らしめたりし也。今や日韓併合、朝鮮統治の緒に就くに當り、半島民族をして日本民族と同化し、其の文明を向上發展せしむるは、是れ實に我が大古史の復活にして、亦未だ嘗て我が帝國の大陸經營に對する方針思想を指導する一大光明たらずんばあらざる也。

顧ふに朝鮮統治の成功は、實に大陸經營の第一著成功たり、而して世界戰局の一大過渡期に際し、日鮮兩民族の同化、一致結合を鞏固ならしめ、朝鮮統治の實を舉げ、大陸經營の政策實行するを以て、今日の最大急務なりとせば、殿下御東上の效果を善用し、以て朝鮮民衆をして其[illegible]ふ所を知らしむるは、朝鮮總督の任務たらざる可からず。吾人は、朝鮮總督が此の新時期に際し、新機運を利導するに於て、遺算無からんことを祈らざる能はざる也。

朝鮮の教科書(九)

編輯課長　小田省吾

一　普通學校教科用圖書(其十)

第七農業書(全二冊)　實科を加設して勤勉勞働の習慣を養成し其の實科を擧ぐるに力めつゝあるは、確かに朝鮮に於ける普通教育の一特色なり殊に農業は之を加設する學校最も多く、實習地の如きも各校とも之を置かざるなし。普通學校にて敎ふる農業は、朝鮮の風土氣候に適應せしめ且つ本府の勸業方針に違背せざらしめんとは最も力を用ひたる所なり。本書編纂上注意せし諸點大略左の如し

一、教材の選擇は朝鮮に適切ならしめ、又其の教材の季節的排列は朝鮮の氣候に適應せしむ。

二、口語にて記述し、振假名を多くし、設問を設くる等の注意は理科書に同じ。

第八唱歌集(全一冊)　唱歌の情操教育上必須缺くべからざるは勿論、國語教育上の効果亦偉大なるものあり然るに朝鮮に在りては教育的唱歌は從來何等見るべきものなく、却て時として排日の思想を含める不良唱歌の行はるゝものありき。而して一方內地に於て普通に行はるゝ唱歌は其の語句餘りに高文的にして朝鮮人には解し難く、又其の思想に於て適切ならざるもの多く、適當なる唱歌教材を得ること極めて困難なり。依て先づ本府は當局何れの學校にも最も必要なる式日唱歌を主とし、本府に於て必要なるものの數篇を新作し、之に內地にて行はるゝ唱歌中雅醇なるものの若干を加へ、之等を合して本書を作成せり。本書編纂上の方針概ね左の如し。

一、教材は多きを貪らず、歌詞曲譜共雅醇なるものを取る。

二、式日唱歌中內地に行はるゝ紀元節唱歌は歌詞甚だ朝鮮人に理解し難く且長篇なるにより別に新に作曲に係るものは卒業式、師の恩、運動會、[illegible]等の[illegible]也

三、本書は初入學兒童の爲め若干の朝鮮語唱歌を收む。

四、本書は木譜を採用したるも、教授上の便を圖り數字的略譜を附記す。

以上を以て一通り現行普通學校用教科書の説明を終りたり。只圖畫教科書のみは既に一定の方針を定め編纂に著手しつゝありと雖も、未だ完成せざるを以て此處に之を省く。他日出版の曉には之に對する教育家の公評を聽かむと欲する點尠からざるなり。

支那商工業の變遷(三)

今關天彭

一七、明代の商業(其三)

英吉利は、神宗の萬曆七年(一五七九年我が天正七年)に始めて印度に達し、莊烈帝の崇禎八年(一六三五年我が寛永十三年)澳門に達して通商の許可を得たが、葡人の讒言によつて通商を行ふを得なかつた。同國は最後に交通したから、勢力が微弱にして根據もなかつたのである。

我等は成祖の四夷耀威策を記憶の外に逸する事が出來ぬ。それは成祖の宮內官鄭和が、命を奉じて長さ四十四丈、廣さ十八丈の大船六十二隻を引率して古城諸國を歴訪し、中華天子の威稜を輝かした事である。鄭和はその後六回ほど命を奉じて遠征し經るところ凡そ三十餘國に及んだ。これを三保太監の西洋得勝とて、明…

一八、明代の工業(其一)

明には南京、北京との兩都がある。南京は太祖が建て、北京は燕王即ち成祖が燕王と稱して居たところであるが、後に蒙古に對すべく都を建てた。兩京の宮室城郭の制は、なかなか宏大であつた。先づその宮室の建築を見ると、

(一)宮殿は南京の正殿を奉天殿と曰ひ、左に文樓あり右に武樓あり、奉天殿の內に華蓋殿、謹身殿あり、その內は乾清殿である。奉天殿の左門外には文華殿あつて、皇太子の事を視る所、右門外には武英殿あつて、皇帝齋戒の時の居る所である。北京の設備はこゝごとく南京と同じく、しかも壯麗はこれに過ぎた。

(二)府第、親王府は承運殿あり、殿後は圜殿で、その後は存心殿、この後に前宮、中宮、後宮の三宮がある。公主の第は、廳堂は九間十一架、綵色の繪飾には金を用ひぬ。門は五間七架、綠油でぬつて銅の環をつける。(三)百官の第、公侯の前廳は七間兩厦九架で、中堂は七間九架、後堂は五間九架、門は三間五架で金漆でぬり、獸面の銅環をつける。一品、二品の廳堂は、五間九架で、屋脊は獸形の瓦を用ひ、梁、棟、斗栱、簷桷に青碧い飾をつけ、門は三間五架で、綠油でぬり、獸面の錫環をつける。三品より五品までの廳堂は五間七架で、屋脊に獸形の瓦を用ひ、梁、棟、簷、桷に青碧い飾をつけ、門は三間三架で黑油でぬり、錫環をつける。六品より九品までの廳堂は三間七架で、梁棟は飾るに土黄を以てし、門は一間三架、黑油でぬり鐵環をつける(四)庶舍、庶民の居る所は三間五架である。太祖は九と五の間數を用ふるを禁じ、英宗はそれを變通して架多くして間の少きものは之を許した。

城郭建築となると、南京では、宮城に六門あり、即ち午門、左掖、右掖、東安、西安、北安の諸門である。皇城即ち宮城の外圍にも六門があり、洪武、長安左、長安右、東華、西華、玄武の諸門である。京城即ち皇城の外圍(周圍九十六里)には十三の門がある。正陽、通濟、聚寶、三山、石城、太平、神策、金川、鍾阜、朝陽、清涼、定淮、儀鳳の諸門である。皇城の外郭は周圍百八十里あつて十六門がある。即ち姚坊、仁[illegible]、[illegible]、滄波、高橋、雙橋、上方、夾岡、鳳臺、大馴象、大安德、小安德、江東、佛寧、上元、觀音の諸門である。北京では、宮城の周圍六里十六歩あつて六門がある。承天、端門、午門、東華、西華、元武の諸門なり。宮城を圍む皇城は周圍十八里餘あつて、大明、東安、西安、北安、長安左、長安右の六門あり、皇城を圍む京城は周圍四十五里あつて、正陽、崇文、宣武、朝陽、東直、阜城、西直、安定、德勝の九門がある。嘉靖時代に重城を築いて京城の東南を包み、長さ二十八里、永定、左安、右安、廣渠、東便、廣寧、西便等の七門を建てた。

前代に次いで陶器、織物、縫箔等は進歩した。陶器では、永樂窯、宣德窯、成化窯、正德窯、嘉靖、隆萬窯等の名がある。隆萬とは年號の名で隆慶と萬曆を略したのである。當時製造した各種の陶器には、純白なのがあり、青花があり、五彩なのがあり、みな結構だ。又景泰の時に一種の藍色を發明し、その光潤が無類である、之を藍色瓷と曰ひ、景泰窯とも曰ふ。織物も進歩したその名產地は應天府即ち南京、蘇州府、松江府、杭州府、嘉興府、湖州府等の東南部であるが、蘇州と杭州とは、今猶織物の名產地である。また西北部では山西の潞紬、陝西の絨袍がある。縫箔も進歩した。最も價値あるのを顧繡と曰ふのが是れであつて、現今に於て蘇杭の縫箔師で顧繡の名をつぐものがあるが、實は顧氏の遺法ではない。しかし近日蘇州府の美術舖の縫箔師に顧氏の繡法を失はぬものがあるさうである。

隣邦を奈何……對支國策を確立せよ(十五)

中島生

邦人の活動能力

支那の內政に干渉せざる事と、支那を指導誘掖する事とは、必ずしも相容れないものでない。吾人は時々支那の政府を指導誘掖する事を避けても、支那の國民を指導誘掖する事を避ける必要はない。支那の國民を指導誘掖する事は日本が東洋永遠の平和を保障する上に最も必要であり、之が爲めに與ふる努力を惜む可らず。從て日本が積極的に支那の開發を助成する方針を以て、支那に働き掛ける地位に居るを要する事は、之が爲めには消極的否定的方針は殆ど之を排除して可なりと思ふ。經濟上の爲めに設くべき事は多々あるべし。例へば支那の爲めに日本の事業に對して資金を供給するとか、熟練なる我國の技術を供給するとか、支那と外國との交渉取引關係に仲介の勞を執るとか、鐵道速成に努力するとか、其他擧げ來れば、の對支施設事項については、政府當局を指導する迄もないであらう。是等の施設は、政府も、議員も、貴族も、平民も、軍人も、操觚者も、實業家も、政治的、階級的社會的偏見を去りて、機を見て之を行ふに熱心に攻究し、最も其の爲めに敏なるべし。政府者は人氣取りの爲めに、議會は政黨根性の爲めに、軍人は武斷主義の爲めに、操觚者は俗受けの爲めに、從手腕の議論をして居る時ではない。

日本が支那に於て優越の權を有する事は、夙に列國の認むる所、最近には米國の輿論が立派に裏書をして呉れた。列國と雖も、日本より優越なる地位を支那に占め得べしとは思つて居まい。第一に日本が地理的に支那に最も近接せりと云ふ事を列國は如何とも爲し難いのである。第二に日本は軍事上に於て強いと云ふ事を列國は認めざるを得ないのである。而して支那に於て自國民の活動力如何、自國民の生存力如何、と云ふ事を考へる時、列國は到底日本人に及ばぬを自認せざるを得ないであらう。但し資本關係は別問題とする。個人としても、團體としても、白人たる歐米人よりも日本人の方が支那に活動するに適せる理由は(一)多數の者が支那に入込みやすき事(二)日本人は白人よりも支那の氣候風土に適應する素質を多く有すると云ふ事(三)日本と支那とは、言語に於て、文字の共通する點が多く、且つ支那語に熟する事も比較的容易である事(四)日本人は白人よりも支那の風俗習慣に慣れやすい事。(五)日本人は支那の敬法に對して最も近い關係を有する事。以上は日本人が支那に進むき、支那人の社會に立交つて生活するに、白人よりは優位に居る點を擧げたのであるが此れ丈けの素質が有れば、日本人は支那の何處へ行くも、充分に活動ができる筈である。今日でも支那在留外國人の大部分が日本人である事が之を證して居る。併乍ら、夫れも程度の問題である。何故に程度の問題であるかと云へば如何に支那が廣くとも、又日本の人口が稠密になり、人口過剩を訴へるとも、無闇に多數の者が支那に行く事を許さないと云ふのは。今の處多數行つても食へないからである。今日でさへ、在支邦人の多數が、決して滿足の生活をして居るとは云へない。少し日本人の密集せる所では、共喰ひの有樣である。

耐火煉瓦 各種 製造開始

蠟石煉瓦 卅番より卅三番
シャモット煉瓦卅番より卅四番
ダイナス煉瓦
マグネシヤ煉瓦
耐火モルター
其他耐火物各種
尚詳細は説明書に就き御一覽被下度候

從來赤煉瓦七竈製造販賣致居候處今般耐火煉瓦製造開始仕候間多少に不拘御注文被下度奉希候

平壤府橋口町
合資會社 京谷商店
電話長一二五番

淑女画報

七月號 定價三十三錢 郵稅[illegible]

少年少女家出問題と家庭の警戒 …吉田博士、坂口鉾郎、櫻井田次郎、渡邊博士
李獅々(水滸傳の美人)…幸田博士
抵抗發生夏の飲食物…高野女史
よき勸告(家庭笑話)…わらび生
本邦衣食住の美點…下田歌子
諷刺見合拜見…奥野他見男
藝術家肌の商安夫人…冴水妙子
女性を讃美せる經文…本多日宅
色説法(源氏物語)…日向きむ
鮮麗伏見宮若宮姫宮三殿下
化粧(フォセット版口繪)池田輝方畫
李王世子殿下と梨本宮女王殿下
遠征中の二海將の家庭
なる令孃の表千家流茶の湯順序
松平伯令嗣夫人の油繪と燒繪
眞吉婦人會と跡見校友會
「お魚が幾尾居りますか」(懸賞寫眞)
毛利公令孃の花嫁姿の披露會
畫報 四十餘頁
愛の勝利(家庭小説)…小栗風葉
金剛石物語(活動小説)…孤島作
コマ繪お伽燈籠の灯
變裝して各女學校に住込む 伯爵樣に御奉公…早百合女
ロマンス水深の村の悲劇…T女
女性の幽靈…石橋臥波
簡易に出來る家庭捺染法…堀內眞砂子
暗流(敗商實譚)…小杉幸子
脚下を運ばれた 未亡人の歎き…さいぶね
東京本町 振替二四〇 博文館

料理の友

七月號要目 美麗なる彩色寫眞十數個と百餘個挿入す 一冊廿二錢(毎月一回)
新生活と新食物 横井博士 ▲食物改良意見 柳澤伯爵
最新の食養法 瀨田博士 營養と食物の選擇 二木博士
一家の幸福は臺所の革命 田中夫人 ▲家庭料理の眞價 栗夫人 ▲夏の台所衛生
食の進む涼しい御馳走 衞生で經濟的で新趣味の夕飯
一人前卅錢で出來る客向の御馳走 ◉佐伯博士の考案になる營養增進料理
茄子と瓜の新案料理 ◉一品十錢の珍味會 ◉暑さを忘るゝ晩酌
野菜乾物で出來る夏向の西洋料理 ◉避暑地の海でも山でも便利な罐詰料理數種
道具なしに出來る輕便アイスクリーム ◉夏向の和洋菓子と冷めたい飲み物
東京 大日本料理研究會 振替東京二四三九八

産科 婦人科 專門
京城明治町二丁目(元漢城病院下横通川崎大正醫院前)
中央婦人病院
院長 衣笠 電話二三四〇番

防水布 貝印 本ゴム引 レインコート
本ゴム引(擬皮) 華紀 臺布緒原料 レインコート(生地各種)
大阪市京町堀通二 奧田商會
攝津伊丹町 奧田護謨製造工場
奧田防水布工場
定價表呈 無代進呈

京日案内
普通 一回前金 五十錢 番外 一回前金 一圓(但し廣告[illegible]) 一回前金
▲申込後中途解約申込の節は前金返戻せず
▲六回以上の御申込は特に勘定引
▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

電話至急讓度し(龍一二九番) 龍山漢江通八 電話五三三番 井上商店 504
男女記者 府尹及地方支局長五名採用本人來談要履歷書 帝國新報支社 京城吉野町一ノ一二七 202
自轉車月賦販賣に應ず 京城黄金町二丁目角 イバラキ商店 電二九二七 172
安全第一の古本と古樂器賣買店 京城本町[illegible] ツツボヤ書籍店 124
貸家 (官吏向) 所在初音町五 家賃二十三圓 電話一八〇六 野中 205
外務社員招聘 履歷書携帶毎日午後二時より四時迄の間來談あれ 明治町二ノ五六 東條 198
電話讓受たし(電話二三四四番へ) 201
汽鑵及搗鑛機賣却 汽鑵廿五馬力搗鑛機杵數廿本杵重三百五十磅望の方委細御照會を乞ふ 慶北善山郡玉城面九鳳洞 吉尾 193
店員 九六名 年齡十八九歲より二十五六歲迄 至急入用 但し確實なる保證人を要す 仁川新町 津田兄弟屋 187
共樂社遊船部 本社の遊船は料金安價にして新造屋形船なり 龍山電車終點漢江畔 電話五二八番 140
石版畫工募集 京城櫻井町 戸部印刷所 181
外交員採用 京城櫻井町 戸部印刷所 182
有給外務員募集 履歷書携帶面談の事 日本生命保險會社開城代理店 188
鑛物定量分析 太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路 電話長一三四四 坂元分析所 189
新古ミシン賣買 並に修繕 ●針油部分品販賣 京城鍾路二丁目 電二三三八 楠商店 78

第卅九回特別帝國議會

貴族院（二十九日）

▲特別委員會

廿九日の貴族院は十時より決算委員第四部第二分科會產業組合法中改正法律案、工業所有權戰時法案、銃砲火藥取締法中改正法律案の各特別委員會開催、日本勸業銀行法中改正法律案外二件特別委員會は直ちに討議に入り三法案共可決散會せり（東京特電）

▲研究會豫算查定 貴族院研究會にては七月一日勝田藏相の出席を求め追加豫算の說明を聽取したる後豫算查定方針に關する協議をなすべしと（東京特電）

衆議院（二十九日）

▲豫算委員總會

二十九日午前十時開會前日に引續き質問に入る先づ

▽清水市太郎氏（政友）起ち製鐵獎勵及び鐵鑛問題に關する政府の所見如何を問ふ

▽仲小路農相『既に製鐵獎勵法を講ぜる以上飽迄此の趣旨を貫徹せしむる爲め關稅にも斟酌の必要ありと信ず又製鐵上緊要なる鑛石と石炭とに就ては各方面の研究に苦心し居れり』次で憲政會の

▽町田忠治氏起ち『今回の追加豫算は二億圓以上の巨額に達し居れり之れ憲法會計法の精神に背反する所なきか』

▽勝田藏相『前內閣に於て十四日間の會期に七千萬圓の追加豫算提出を爲せしに比すれば此の重大の時局に際し此の豫算を計上するは必ずしも計畫散漫なりと謂ふべからず』

▽町田忠治氏『現內閣は果して大正十四年迄的確に五千萬圓償還の確信ありや』

▽勝田藏相『政府は時局に順應する政策を樹てんとし其方針を一面豫算に示し又公債其他に現はせり將來國防其の他國力發展に要する經費の增加に連れて財政の按配を圖らざるべからざれども今日は五千萬圓償還を實行する考なり』

▽町田忠治氏『政府が本年度に募集せんとする公債及び借入金は三億七千萬圓に達せんとす斯く巨額の募集は既發公債を下落せしめ金利の引締を爲し財界を混亂せしむるものにあらざるか』

▽勝田藏相『三億七千萬圓を一時に市場より引き上げんとするにあらず質問者の憂慮するが如き現象は起らざるものと信ず』

▽野村嘉六氏（憲政）議事進行上一言すべき事ありとて發言を求め『昨日寺內首相は島田氏の質問に對し貴族院に於ける答辯は書面、口頭隨意なりと言へり之れ政府が少し面倒なる問題には即答を避くる端緒を爲すものにて立法府に於て最も重大なる問題なり』と先例法文を示して敦圍くや、

▽寺內首相『其れは先例あるを以て差支なしと信ず』と答へ

▽山本委員長『這は議事進行上重大事なれば明かに爲し置く必要あり政府の答辯は複雜なる問題に對し誤解を避くる爲め書面答辯を爲すは不可なしとせざるも意志疎通の點より見て口頭を主とすべきを望む故に委員が承認し又は希望したる外數字の類に非ざる限り口頭を以てする樣致し度し』と述べ

▽小川平吉氏（政友）『先例は確に尊重するを以て書面答辯不可ならざるも口頭答辯を主とし最も懇切なるべし』と附加す次で

▽高木益太郎氏（國民）は『大正四年度計上豫算と實行豫算との差額及び正貨の輸入狀況』に就て質問し

▽勝田藏相『前者は未だ明示する能はず後者は貿易に依る正貨の輸入五、六億貿易以外にも二、三億あり』と答ふ

▽高木益太郎氏 官業調查、國有財產調查の不備に就て質問し官紀を振肅し官吏を勸勉ならしむべしと言ふや

▽寺內首相『御趣旨至極同感なり御議論の如く官吏のみならず國民一般に勸勉の風を振作せば國家の慶福なり』と辯じ勝田藏相は官業調查の上成るべく行ふべく又稅制は整理の餘地あることを言明し十二時三十分休憩

▲豫算總會質問打切 衆議院豫算委員總會は三十日午前一時を以て質問打ち切りとなり二日よりは分科會の審查に移るべし（東京特電）

▲特別委員會

東拓法改正 法律案附議

東洋拓殖會社法中改正法律案外一件に關する衆議院特別委員會は二十九日午前十時より開會

▽市來大藏次官 提案の理由を說明し『政府は東拓從來の事業を擴張し廣く滿蒙地方に於ける產業資金の供給を企て又移民會社の助長を講ぜんとするにあり從來其代償として政府持株の配當金二十萬圓を免除せんとす』と說明するや之れに對し

▽牧山耕藏氏（政友）は『彙に三十七議會に提出されたる改正案と本案とは內容著しく相違せるを認む前案が一千戶の移民計畫を實行すべく三十萬圓の補給を受けつゝありたるに本案は更に事業を擴大するに對し配當金二十萬圓の免除を以て新計畫を遂行せんとす果して矛盾を生せずや』と質す

▽市來次官『本案は移民事業よりも寧ろ拓殖事業に對する金融投資を以て主眼とするものなるを以て自ら別問題なり』

と答へ次で過去五年間の東拓營業狀況に就き牧山氏及び市來次官並に秋山政府委員との間に質問應答あり續いて朝鮮移民狀況並に兒童教育に關し牧山氏の質問秋山政府委員の應答あり更に

▽牧山耕藏氏は『滿洲地方に於ける朝鮮人五十餘萬人に對する保護は等閑視せられつゝあり東拓事業の擴張と共に之等に適當の處置を講ずる方針なりや如何』と問ひたるに

▽秋山政府委員は『同地領事館關東都督府等にて相當の方法を執る事と信ず』と答ふ

▽牧山耕藏氏は『東拓重役の俸給と在鮮手當とは主客顛倒の嫌あるは如何』と問ひたるに

▽秋山政府委員は『總て完默に據るされど在鮮手當は昨年之れを廢止せり』と答へ未了の儘散會せり（東京特電）

▲政友代議士會 政友會にては三十日の本會議に內閣彈劾案上程せらるゝを以て同日正午院內に代議士會を開き勢揃を爲すべく旅行中の議員に對し二十九日至急上京を命じたり（東京特電）

▲政友政務調查會 政友會にては七月二日午前十時本部にて政務調查總會を開き終つて代議士會を開き追加豫算查定方針の決定をなすべしと（東京特電）

▲竹村氏質問提出 憲政會代議士竹村良貞氏は東京商業會議所會頭後任に關し詮衡委員は添田博士を後任に推薦せるに拘らず添田博士が報知新聞社長たる故を以て仲小路農相は同博士の會頭就任不認可を聲明したる件に關し衆議院に質問書を提出せり（東京特電）

○首相政務伏奏

寺內首相は二十九日午前十時宮中に參內拜謁仰付けられ特別議會開會後の政務に關し伏奏する所ありたり（東京特電）

○長谷川總督參內

李王殿下を下關迄見送りし長谷川總督は二十八日午後八時歸京二十九日午前十時參內拜謁仰付られ李王殿下御旅行の經過を奏上十一時退出せり（東京特電）

○鮮人勞働者渡來

內地諸會社にては昨今職工の拂底を感じ之が補充行はれつゝあり不日朝鮮より勞働者五千餘名渡來すべしと（大阪特電）

◎瀨踏みの日本海橫斷航路

朝鮮郵船會社にては豫而元山敦賀間の日本海橫斷航路を開航せんとの意圖あり同航路に對する會社の方針は原田社長談として屢々本紙にも報せしが

▲船腹不足の關係と裏日本諸港と北鮮間の貨客來往狀態は未だ其の實現の機運を熟せしめず以て今日に至れり然るに七月二十日には朝鮮郵船が新造を神戶川崎造船所に注文せる一千五百噸級船一隻竣工廻航し來り直ちに北鮮方面の命令航路に就航する筈に付そこに若干船腹の餘裕を生ずるを以て會社は八月上旬汽船平壤丸を元山より敦賀に往復せしめ日本海航路の瀨踏みを行はんとするの議二十九日朝重役の間に略決定したり依て會社は今後平壤丸出航に對する貨物等の交涉に着手するに至るべく

▲廻航の餘地なければ中止すべきも可成犧牲を忍び多分其の實行を試むべし尙ほ該航路は朝鮮郵船の日本海橫斷航路の將來に重大の意義を有するものにて其の成績により或は今後不定期にせよ自由航路を開くに至るべしと傳へらる

◎清會線と材料 其の全通期如何

清會線建設材料交涉の要件を帶び八幡製鐵所及び大阪橫川製作所に出向中なりし大內鐵道局副參事は兩三日前歸任其の語る所に據れば八幡製鐵所に注文のレールは鐵道局より其の發送を急ぎたるため已に出來したる分に付き漸くも七月中には殆ど全部淸津に輸送せしむるの運びに至るべし而して大阪橫川製作所に注文の橋桁も亦遠からず全部製作濟となるべきも奈何せん該橋桁の容積は非常に尨大なるものにして其延長六十尺に達するものありため內海航路に從事しつゝある現在の小型汽船にては到底之を輸送せしむること能はずさりとて

○ベチー提督へ勅語

英國皇帝は英國大艦隊司令長官ベチー提督に對し其の艦隊の軍備愈々充實し英國艦隊は未だ曾て其の敵味方より今日よりも一層大なる尊敬を拂はしたることなしとの勅語を賜はりたるが提督は不拔の至誠を以て事に當るべしと奉答せり（倫敦電報）

○對英陣獨軍兵力

ル、ゴーリア新聞紙の概算に依れば百四十七萬米突に亙る英軍戰線の前面にある獨軍の兵力は五十一個師團にして佛軍戰線五百七十七萬米突の前面にある兵力は百二十一個師團なり即ち英軍戰線に對峙する獨軍兵力は英軍の夫れに二倍せり（巴里電報）

○敵機三臺を射落す

英國飛行機三臺はバーレハの上空に於て獨飛行機と交戰し敵機三臺を墜落せしめたり（巴里電報）

◎京畿春蠶販賣期日

京畿道にて管內府郡の繭共同販賣計畫中なりしことは既報の通りなるが左記日割に依り施行の筈にして其の方法は前年と大差なきも各郡とも生繭の儘集繭し一定の乾燥を爲したる上販賣する事とせるを以つて乾燥法完全せる次第にして出繭の多きは抱川の七百石加平の六百石漣川の五百石等なるが第一回即ち六月三十日施行の龍仁の如き百石の豫定なりしに二十六日迄に集りたる量已に百六十石に達せる由にて各郡共未曾有の豐收なりし爲め孰れも豫定石數以上に達すべく繭の品質も頗る良好なるが如し尙ほ廣州郡は特別の方法に依り京城黃金町黃金館附近に廣州郡繭販賣所を設け六月廿三日より日々入札販賣を行ひつゝあり今後尙ほ數日繼續販賣さるべし又江華金浦富陽始興及び富川の各郡は恩賜授產京城製絲場に生繭の儘共同賣込を爲す由、共同販賣期日及び豫定石數左の如し

期日	府郡名	豫定石數	府郡名	豫定石數
六月三十日	龍仁郡	一〇〇（第一回分）		
七月二日	漣川郡	二〇〇（第一回分）		
五日	坡州郡	一七〇	加平郡	六〇〇
六日	振威郡	一五		
七日	安城郡	三五	楊平郡	三〇〇
九日	利川郡	二〇〇	揚州郡	二五〇
十日	驪州郡	六〇〇	長湍郡	一二〇
十一日	龍仁郡	五〇〇	開城郡	四〇
十二日	水原郡	一〇〇		
十六日	漣川郡	二〇〇（第二回分）		
十八日	抱川郡	七〇〇 以上		

◎全北輕鐵被害

鐵道局に達せる報告によれば二十七日夜來の豪雨のため萬頃江出水し全北輕鐵東山參禮驛間の線路浸水し運轉不能となる而して一列車は裡里より全州に引返せり二十八日中は尙ほ增水し開通せざりき

◎李王酒肴料下賜

李王殿下には廿八日釜山御出發に際し釜山各學校へ奬學資金として金一千三百圓を御下賜相成りたる事は既電の如くなるが尙釜山府廳吏員、稅關、警察署、憲兵分隊、陸軍運輸部職員一同に對しても酒肴料を御下賜相成りたり（釜山）

◎露貨換算率

朝鮮鐵道發日滿連絡運輸連絡運賃中長春以北間の露貨運賃換算率は二十九日より露貨百留に付日貨四十六圓九十五錢に改められたり

◎朝鮮商銀株主總會

朝鮮商業銀行第二十二期株主總會は七月二十三日午後四時より開會と決定し監查役二名の改選をも行ふべしと

◎川添檢查官來釜期

豫て來鮮中の會計檢查院副檢查官川添久重氏は北鮮に於ける陸軍建築の檢查を終へ七月二日淸津より陸軍御用船にて朝鮮駐箚軍司令部經理部員大隅二等主計と共に五日釜山に入港同日夕出港の連絡船にて歸東の途に就く由（釜山）

人事消息

▲松坂健一郎氏（伊藤長鐵山部員）▲池田九一郎氏（同）二十九日朝入京浦尾へ
▲谷川更太郎氏（藤田組社員）同上
▲加藤弘次郎氏（貿易商）三十日朝入京浦尾に投宿の筈
▲新井要之助氏（樺太工業株式會社）同上

南言北語

愈々今日は議會へ憲政會から提出した政府不信任案が上程せらるゝらしい▲說明者は例の尾崎行雄君だとの事だから大分面白い處が見せらるゝのだらう▲而し犬養君の氣燄の聞かれぬのは何だか物足らぬ心地もする▲言子は奇想天外的の演說が聞きたいと云ふのでもない▲波瀾重疊頓挫抑揚の辯舌に痛快を叫ぶ程の好事家でもない▲希望する處は此の世界の一大轉局に際して今少しく大勢上の立論を期待するのである▲彼露國首相の大演說の如き懦夫をして起たしむるの概があつた▲演說の拙劣は辭令の拙なるに因由せんも▲要は慨世愛國の熱情迸れる一個のクロムウェル、ジョーヂ無きが爲でもあらう▲犬養木堂君と特別の關係があるらしく傳へられて居た『日本及日本人』が近頃犬養君攻擊を始めたのは面白い▲伊東知也君が其の筆鋒に出かけると社員總掛りで▲犬養を國民黨から逐出すか然らずんば君自ら脫黨せよと詰め寄せられて流石の豪傑も參つたとの事▲議會で議長酷めで有名な廣岡宇一郎君曰く▲僕に要らんものが三つある一つは勝一つは衆議院の部屬制度最一つは歲費を受取る會計室だと▲但し廣岡君は代議士になつて以來一度も會計室へ行つたことが無いさうだ▲俳句に凝つた和田垣博士の近吟に曰く▲『手長鰕其長き手を網の目に』而して其註に▲『これは句は句だが洒落の句サ天網恢々と云ふ處なんだよ』は依然和田垣式を發揮して居る

冒雨將赴仁川或有阻行者予不肯雨發 東嶺 持地六三郎
南風昨夜活枯田、甘雨沛然滿陌阡。郊外莫嫌行路惡。勸農偏欲賭豐年。
謹步持地東嶺先生喜雨詩 瑰田 趙重應
皇恩化雨滿枯田。東望歡聲遍四阡。蘇得群生皆自樂。明時可祝大登年。
同上 無佛 陳人
及時慈雨滿田田。苗起勃然連陌阡。一滴農家抵金玉。雖呼八道祝豐年。

○和蘭、獨逸汽船受納

[illegible]

○參謀次長消息

[illegible] 參謀次長は [illegible]

[illegible] に依れば畓面積八萬六千九百七十坪 [illegible] 錢建物建坪 [illegible] 千五百三十九坪收入額 [illegible] 百四十八圓 [illegible]

三、個人の所有に屬せしものを誤つて面有と爲し來りたるを返還せる爲 [illegible]

王殿下に隨伴し渡鮮せる尹侯爵、閔子爵、閔子爵 [illegible] 權遊事務官 [illegible] 阿部京日社長並 [illegible]

○與山鑛毒甚し

[illegible]

第六回決算報告

貸借對照表 自大正五年五月一日至大正六年四月三十日

資產之部

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
鑛區代金	[illegible]
地所	[illegible]
建物	[illegible]
機械	[illegible]
什器	[illegible]
興業費	[illegible]
第四鑛坑費	[illegible]
探鑛區費	[illegible]
鐵道部	[illegible]
農工銀行	[illegible]
假渡金	[illegible]
試錐費	[illegible]
貯藏品	[illegible]
預ケ金	[illegible]
第式通風坑費	[illegible]
土木費	[illegible]
貸掛代勘定	[illegible]
未決算	[illegible]
貯炭高	[illegible]
現金	[illegible]
計	六壹七、四八七・九壹壹

負債之部

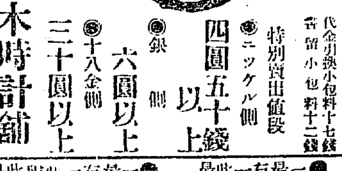
科目	金額
株金	六〇〇、〇〇〇・〇〇〇
店員積立預り金	武武八・四五〇
未拂金	壹、武參六・武九〇
假受金	五、五七壹・武八〇
前季繰越益金	參、壹五九・七〇壹
當季益金	七、五九武・壹九〇
合計	六壹七、四八七・九壹壹

右之通リニ候也
大正六年六月
東京市京橋區桶町六番地
咸興炭鑛鐵道株式會社
朝鮮咸鏡南道咸興
同 支店

大好評の
スタンレー乾板
イルホード乾板
ベルム臭素紙
パゼット臭素紙
右各種新品を揃ひ見本及使用書無代進呈
本店（大阪市心齋橋筋）
支店（京城南大門通三）
大阪 上田寫眞機店 京城

孫林在範義他より誘引せられ無斷出家內地へ出發候間今後同人に對する金錢其他の貸借關係に付ては一切責任無之候
京城鳳翼洞 祖母 李應彬 白

愈々腕卷時計シーズン來る



特別賣出値段
◎ニッケル側 四圓五十錢以上
◎銀側 六圓以上
◎十八金側 三十圓以上
▲地方御註文向は代金引換小包料十七錢 書留小包料十二錢
寒暖計各種
京城本町 村木時計舖
電話長四七一番 振替京城三一九〇番

公告

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

京城地方法院

●京城府貫鐵洞貳百貳拾五番地
一垈貳拾四坪
最低競賣價額金貳百八拾八圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾四坪七合四勺
最低競賣價額金七拾參圓七拾錢也
右競賣申立人 [illegible]
右不動產所有者 崔[illegible]

●京城府寶洞百拾壹番地
一垈五拾八坪
最低競賣價額金壹百七拾四圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
此建坪拾五坪八合貳勺四才
最低競賣價額金參拾壹圓五拾錢也
右競賣申立人 戶谷タミ
右不動產所有者 金德有

●京城府苑洞貳百拾壹番地
一垈參拾九坪
最低競賣價額金壹百九拾五圓也
右競賣申立人 佐藤礒次郎
右不動產所有者 李完淳

●京城府南米倉町拾番地
一木造瓦葺貳階建本家壹棟
此建坪貳拾貳坪六合五勺參才
外ニ貳階坪拾八坪貳合
內瓦葺貳拾坪八合
鉎丹葺壹坪八合五勺參才
最低競賣價額金參百參拾九圓也
右競賣申立人 東京建物株式會社
右不動產所有者 山口精

●□平郡上□面栗吉里五百拾七番地
一畓五百四拾七坪
最低競賣價額金六拾六圓也
同所六百貳拾參番地
一畓壹千參百參拾參坪
最低競賣價額金壹百六拾圓也
同所六百貳拾五番地
一畓四百九拾九坪
最低競賣價額金五拾九圓九拾錢也
右競賣申立人 俞升源
右不動產所有者 俞相華

●京城府蓮池洞四番地ノ壹
一垈百七坪
最低競賣價額金六百貳拾壹圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建壹棟
此建坪拾貳坪七合四勺五才
附屬木造草葺平家建倉庫壹棟
此建坪貳坪五勺五才
最低競賣價額金六拾八圓參拾錢也
右競賣申立人 池永錫
右不動產所有者 [illegible]昌

●京城府吉野町壹丁目六拾九番地
一垈參百〇八坪
最低競賣價額金壹千五百四拾圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾八坪九合五勺七才
最低競賣價額金百四拾貳圓也
一木造鉎丹葺貳階建本家壹棟
此建坪拾五坪貳合四勺五才
外ニ貳階坪四坪內瓦葺拾壹坪壹合七勺
最低競賣價額金百四拾九圓七拾錢也
一木造瓦及鉎丹葺貳階建本家壹棟
此建坪貳拾四坪四合參勺五才
外ニ貳階坪拾四坪參合四勺
最低競賣價額金貳百八拾五圓也
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪貳拾貳坪七合壹勺
最低競賣價額金百七拾圓也
右競賣申立人 東京建物株式會社
右不動產所有者 橘實

●京城府大和町貳丁目五拾番地
一垈參拾貳坪
最低競賣價額金貳百五拾六圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
此建坪拾八坪參合
最低競賣價額金八圓也
右競賣申立人 大坪文吉
右不動產所有者 大關鶴松

●京城府青葉町貳丁目拾七番地
一垈百貳拾坪
最低競賣價額金八百四拾圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪貳拾六坪
附屬木造亞鉛葺貳階建工場壹棟
此建坪拾參坪五合
外ニ貳階坪拾參坪五合
附屬木造亞鉛葺平家建工場壹棟
此建坪拾四坪貳合五勺
附屬木造亞鉛葺平家建倉庫壹棟
此建坪四坪五合
最低競賣價額金壹千百七拾圓也
右競賣申立人 株式會社漢城銀行
右不動產所有者 小野萬平

以上競賣期日ハ大正六年七月拾四日午前拾時トス

●日本晴れの御旅行

連日のお勤めに些の御疲勞無し

◇お出掛けの時は降つてゐた雨もパッタリ止んだ◇

李太王のお喜び＝國分李王職次官談

李王殿下に陪從して二十八日歸來したる國分李王職次官は往訪の記者に語りて曰く

今回の御旅行は實に朝鮮に取りて空前の事であり同時に內地に於ても未曾有の盛事であつた。然かも梅雨季に入つたので天候を毎も氣遣つて居つたが不思議なことには李王殿下の何處かに御出掛けになる時は必ず

▽天氣が晴れたものだ。東京御參內の時なども降つて居つた雨がパッタリ止んで晴天となつたので隨分廓ましい第一公式の御行列も堵列の諸兵も何等の困難が無かつた京都に於ても桃山御參陵の時は降つて居つた雨が立派に晴れた。海上が

▽又往復共に至極平穩であつて殿下には始終御氣色麗しく拜せられた。實は東京に於かせられては色々と御勤めが續くのであるから定めて御疲勞もあらせらるゝ事ならんと拜察して十七日を御靜養の日と定め廿九日を京城御歸還の日と定めて置いたが殿下には連日の御勤めに

▽些の御疲勞を拜せぬばかりでなく却つて御健康勝れさせられ全く御靜養の必要が無くなつたので東京に於ける御滯在を一日繰り上げた。それが爲め二十八日の御歸還となつたのであるが若し其の日程通り二十九日に御歸還となれば二十八日は丁度海上であらせらるから昨日のシケには大分興を削がせられたかも知れなかつた。兎に角今回の御旅行位

▽都合好く行つたことは少なく吾々一同此れは『王樣日和だ』と申した位で六十餘人の隨員中にも何の異狀もなく始終御機嫌麗はしく御歸還遊ばされたのは誠に芽出度い事と申さねばならぬ。殿下の御平安に御歸還遊ばされたるに就ては李太王殿下も王妃殿下も御喜び

▽一方ならず而て今日は御禮傳奏御依賴の爲め關長官を山縣政務總監邸に差遣はされ貴族其他の御祝辭を受けさせられたが些の御疲勞もあらせられざるのみならず御動作殊の外活潑に拜せられ御祝辭言上の爲め伺候したる貴族其他も御機嫌の麗しきを拜して何れも喜悅の淚に咽んで居つた。

◆『丹頂の鶴』御下賜

＝松方內大臣に對し＝

天皇、皇后兩陛下には老臣の高齢を壽かせらるゝ思召にて曩に大隈侯に丹頂の鶴一番御下賜相成りたるが二十七日松方內大臣にも同じく丹頂鶴一番下賜の御沙汰を傳へさせられたり（東京特電）

●京城神社 大祓式施行

京城神社にては年々の恒例式により六月卅日午後八時大祓式を執行す可く當夜拜殿前に淸薦式案を設けて祓所を敷備し案上に祓物を供へ境內に篝火をたき谷村神司以下神社の各職員並に地方官氏子總代等著床祓主祓の詞を白して大麻の行事を行へば各員切麻を以て祓を行ひ祓物は直に之を漢江に流す可く氏子にして祓を受け度き者は同時刻前に境內に參集す可しと

●馬賊の大敗北

頭目王淋の戰死說疑はし

今春以來露支國境附近を根據地とし揮乔第二師長孟富德麾下の討伐兵と交戰中なりし馬賊王淋の部下は本月初旬汪淸縣西北方より向ひたる討伐隊と交戰の結果遂に一敗地に塗れ再び對抗すること能はずして山地或は露領方面に向つて逃走し賊影を止めざるに至れり而して討伐隊は孟師長の本月五日歸營後陸續歸營し賊魁王淋は東寧縣稜附近の戰鬪に於て戰死せりと稱すれども疑問にして彼の部下は總數八十名ありて規律正しく團結力頗る鞏固にして從來の馬賊の如く住民を掠奪せず彼等の目的とする所は露領に入るにありて進軍の途中端なくも第二師兵と交戰せるものなりと

東京大相撲

＝初日＝

素晴しい景氣
二日目の興味

▲正午過ぎまで稽古場で揉み合つてゐた小相撲連が引いて終ふと直ぐに取組みに入つた、四方の棧敷は二時頃には全く滿員となつて殊に三方棧敷を彩る美しい連中が次第々々に殖ゑて來た

▲此の日は土間の客が割合に尠かつたせいか至極靜かでビール瓶を振りたつて躍り出すやうな元氣のある醉拂ひも居らず頗る平々凡々、雛壇に居る藝者連中から黃色い聲がかゝる事かと思つたがそれもなく、ひつそりかんとしてゐたのは初日のせいとは言へ呆氣ないやうであつた

▲角力も蒸し暑いせいか火の出るやうな烈しい立合が見られず活氣が無いやうだつたが二日目の三十日は土曜日であり、觀客の油も大分乘つて來る事であらう

▲二日目は本社のお好みとして潮瀨川に若島と番外幕下の小嵐と龍ケ瀧の初切相撲をお好みとして出す事になつたので此の兩取組は頗る喝采を博する事であらうと今から待たれる

▲又三日目からは京城附近の素人角力の豪傑連の飛入りもある筈であるから是亦番毎に喝采を博する事であらう

▲太刀山の土俵入は流石に立派だつた、黑瀨川の太刀持に敷島の露拂ひ共に檜から拔け出たやうな美しさがあつた、太刀山の土俵入を朝鮮で見る事は之れが終りかと思ふと一層感慨の深いものがあつた

▲大日本麥酒會社京城出張所ではサッポロビール半打の購求者に對して四日間通用の木戸無料券を寄贈したが初日前に已に三千枚に達したので更に二千枚を增刷したさうである

勝	負
○太刀勇	三國山
○槇賀浦	太刀米
○登波	柏の浦
○相合浦	瀧ケ嶽
○若熊	遠州洋
○龍ケ瀧	若駿

勝	負
○金時	浪花山
○龍泉	若虎
○小松濱	甲斐海
○友鶴	岩の戸
○室戸崎	若太刀

筑後川より平扇　小嵐より曾我松
友の山より太刀海　匹國洋より友渡り

中入後

紅葉川より太刀嵐　敷島より荒玉
土州山より國見崎　黑瀨川より矢筈山
伊勢濱より淸瀨川　太刀山より若島

△本社好み番外　土州山より紅葉川

右の內▲太刀嵐に紅葉川は紅葉の立上るや紅葉得意の鐵砲を連發しつゝ苦無く突き出しての勝は元氣なり▲敷島に荒玉は立上るや敷島より無二無三に突き立て荒の土俵際に立直らんとする鼻を引き落して敷島の勝▲國見崎に土州山は土州立上りさま國の左上手を引き上手投げ打ちつけつゝ國見の立直らんとするを土州素早く飛び込んで腰を落しそのまゝ押し切つて勝ち▲黑瀨川に矢筈山は矢筈右差となりて寄るを黑瀨なんのとばかり敵の差手を閂に極め強引の小手投げを試み其の儘極め出して黑瀨の勝▲淸瀨川に伊勢濱は立上り淸瀨より銳く突いて四となり其の儘吊り出して伊勢の勝▲太刀山に若島は立上り若島より烈しく突くを太刀輕く受け流しつゝ其儘無雜作に突出して太刀の勝にて六時打出した

◆大相撲スケッチ

●軍機保護法違反判決

築地立教大學教師セーヤーの軍機保護法違反事件は第一審に於て罰金二十圓に處せられ檢事の控訴に依り東京控訴院にて審理中の處控訴棄却の判決ありたり（東京特電）

●夫に毒を盛る

京畿道水原郡松山面沙江里曹山俊妻金大順（三）は三年前より雇人李小用と關係し本年舊二月中山俊を殺害せんと企て他より竊取し來れる毒藥砒霜を以て其の機を窺ひ五月九日山俊の食椀に之れを混入して僞めたるも其の量少かりしと山俊が吐き出したるとより遂に毒殺を遂せざりしが大順は間もなく水原署に檢擧せられ此程京城地方法院の公判に附せらる

●毆られて放火

京畿道驪州郡金沙面龍潭里農李文遠（五三）は同里の李乘烈が水車小舍に里民を寛め金を貸して博奕をなさしめ居るを憎み居れる內去る五月十二日同里酒幕金三季方にて出會したる際乘烈に其の非行を忠告したるに却つて同人より毆られたるより之れを怨み酒氣に乘じ同夜博奕場なる水車小舍に放火して全燒せしめたるより李文遠は逮捕され此の程京城地方法院の公判に附せらる

●夫殺しは死刑

平北慈城郡長上面倍洞鄕生安燦龜（五一）は同面土城洞田尙治妻金氏（三五）と不義の末共謀し毒藥砒霜を盛りて本夫田尙治を殺害したる殺人事件は新義州支廳に於て此程公判あり檢事は兩人に對し死刑を求刑したるに安は驚きの餘り卒倒したるが二十五日裁判長は兩人に死刑を言渡したり

●豺に咬まる

六月十日午前十時頃平南德川郡々武面非東に一頭の大豺現はれ突然同里の李洛化（五）に咬みつき數個所に重傷を負はせたる際同面濟上里の金利涉（三五）が通り合せ此の光景を見て其場に駈けつけたれば豺は其儘血まみれの洛化を殘して裏山に逃走したるが一方利涉は虫の息となつて倒れて居る洛化を背負ひて送り屆けたるが咬傷は却々の重傷なりと

●恨みの放火

全南光陽郡王谷面新錦里辛命石（三）は本月中旬祖父辛長明より叱責されたるを遺恨に思ひ祖父の住宅へ放火して燒殺さんとせしも家のみ全燒し祖父は避難せしが直ちに逮捕され目下取調中

●朝鮮人の相撲

これは大邱から年寄の若藤に弟子入をなした朝鮮人角力川蠻當遊城山と言つて本年取つて二十四歲、身長は五尺八寸五分で體量が二十四貫、曾て大阪相撲にも入つた事があるが廢めて大邱に歸つてゐたのだといふ

●二階から墜落

龍山元町一丁目朴鶴煥（一四）は漢江通り櫻座の旗持ちに雇はれ二十六日午後一時頃同座の階上にて外數名の鮮童と遊戲中誤つて墜落し兩脚を挫傷したるも應急手當を加へしかば生命には別條なかるべしと

●僞名から露顯

岐阜縣武儀郡下有知村農今井市五郎（廿七）は大正四年十二月中岐阜地方裁判所にて橫領罪に依り懲役十箇月の判決を受け保釋中又も賭博をなし踏込たる巡査を蹴倒して逃亡し朝鮮に押し渡り慶州郡九里面忠愛里に弟の名義なる今井鐵五郎と詐稱して居住中を此程所の巡査に發見されて逮捕さる

●待伏せて亂打

京城北米倉町金興根方服土根（三）は十日夜同町娼家李召史方に寄藥町戚雲瑞外四名が遊興中覗き見をし同人等より小言を受けしを憤り外數名を語らひ雲瑞の歸途を引つ捕へて毆り飛ばし治療二週間を要する創傷を負はせて土根は本町署に引致さる

●病院から逃走

仁川敷島遊廓敷島樓梅子（二）光月樓小櫻（三）の兩名は同病院に入院中數日前病院の窓より飛び下りて塀を乘り越ね逃走し新町某家に潜伏中を仁川署刑事に押へられ二十九日梅子は拘留二十日小櫻は十五日何れも言渡されたるが同人等は遊廓に於て有名の阿遊搦れにて樓主は手古摺り居れりと

●家出女房

京都市上京區寶町寺之內上ル三丁目坂町中路龍次郎の妻とく（三）は夫を嫌ひ去る十二日無斷家出し行衛知れざりしが十八日木浦局消印ある手紙にて衣類送附方を夫の元へ迫りたるより龍次郎より搜索願ひをなし搜索の結果木浦務安通若下旅館に宿泊中を、浦署に於て保護を加へ二十六日國元より迎へに來れる長尾某に連れ歸らる

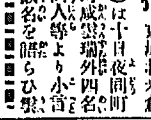
●小說休載

小說「花僮」は作者の都合により本日休載

●浪華會へ淨瑠璃寄附　三十日午後七時より北月に於て開會すべき浪華會に有樂館主早川松太郎氏より求好の淨瑠璃の寄附あるよし

●訂正●　二十六日朝西三部所屬龍蝶界の濟櫻閑金太郎氏死去とあるは櫻閑左衛門の誤りなること其の後に判りて通知ありし右訂正す

さわうのさわう



東拓では永い間かゝつて金融部と總務部とが陣取つてゐた正面玄關右側の幾室か全部を打ぬいてゐたが此頃出來上つて、事業部と金融部は全部そこに納まつた▲新らしい大きな事務室は壁もぬりかへられ柱も減らされ誠にサッパリしてゐる▲川上事業、高瀨金融の兩部長はついたてやら柱やら少し殘つた壁やらでいくらか區劃をつけてゐるが理事課長社員の往復交涉など何れも餘程敏活になつた▲高瀨理事は日當の好い廊下を通した室は會社の事務室としては審式です、かく開放的であるべき筈の此の應接室は階上にあつて秘密を要する對談はそこでやるらしい▲尤も重役は隨ねばならぬ…と▲足立技師は曰くサッパリして明るい丈でも仕合せです東京の市役所のやうだとも云ひ麼會樣の下で仕事をしてゐるやうだと云ふ人もある蓋し柱がこんなに多いからです、と▲序でに總務部は元の事業部跡に入つて終うた

朝鮮全道に亘り好評嘖々たる羽鹿票燐寸の活躍開始

▼破天荒の特價にて提供▲

特色
▼水に濡れても火の出る
▼一本も不發火のなき
▼値段の安い本數の多き
燐寸
▼不良品あれば何時でも交換する

羽鹿票燐寸

朝鮮全土 壹萬函限大賣出し

釜山 東洋燐寸株式會社出張所

販賣價格……左記各店に於て大勉強販賣致し候間御照會を乞ふ

販賣店
釜山本町 小野商店
釜山本町 山田商店
釜山本町 松前商店
釜山大廳町 明治屋商店
釜山本町 近藤商店
釜山辨天町 あづまや商店
馬山 吉田商店

▼燐寸の良否は目下の梅雨期に御試驗あれ▲

釜山本町三丁目　双鹿燐寸釜山販賣組合　電話三五一番・振替京城一二三五番

●大好評に締切期到る、本書は豫約以外に販賣せず、希望者は即時申込まれよ、機を逸して他日の悔を殘す勿れ

近世實錄全書

豫約締切

（申込）本月卅日限　（送本）七月より毎月壹冊　（見本）通知次第送呈す

本全書は實錄物の傑作全部を網羅し之に史的考證を加へ根據眞僞を詳にし併せて其時代の制度、人情、風俗等を指摘解說したれば從來は單に趣味ある者とのみ思はれたる者も世相史たるに至れり而して其範圍甚だ廣く各藩の內訌、忠臣、孝子、義民、豪商、俠客、惡姦等は言ふに及ばず敵討、怪談、迷信、情話等の各方面に亙り以て社會上下の寫實歷史を描き他に求むべからざる史傳的知識の普及機關として穩健なる娛樂機關として多大の好評を博せるもの豈偶然ならんや

●豫約元　東京市牛込區早稻田　振替東京一二三番　早稻田大學出版部

（豫約要項）全部廿冊、四六判布製金文字約千頁、總假名附、豫約價即納十五圓、分納九拾錢宛廿回　（每冊送料）東京市四錢、內地八錢、支那、朝鮮、樺太、臺灣十四錢

取次所 各書肆

工事請負公告 京城府
一、東大門内外四十七個所溜砂利採取工事
入札月日　七月六日午前十時
詳細ハ會計係ニ就キ照合スベシ

工事請負公告 京城
一、西大門小學校木工室其他増築工事
右七月五日午前十一時入札ニ付
詳細ハ當會計係ニ就キ照合スベシ 學校組合

最新刊
書名　著者　定價
●蠶　筍　岡本米藏　一、〇〇
●進むべき道　南條文雄　一、三〇
●新譯韓非子　野中元三郎　九〇
●家庭改良と家庭教育　佐々木吉三郎　二、〇〇
●徴積小學の基本概念と問題と解方　永野末吉　一、三〇
●新案岡堀式算術錬習法　岡堀貢三郎　六〇
●簡便なる珠算と筆算の秘訣　佐々木政吉　五〇
●俗語大辭典　濱龍美・特　一、八〇
●疏菜不時栽培法　恩田鐵彌・原田茂一郎共著　二、七〇
●和洋建築設計製圖本 ○○忍一　一、二〇
●論理必携論辯學與義 ○○ 忍　九〇
●文範集成 模範書簡文講話 大町桂月 特一、二〇
●竹の下枝　小川直子　二、〇〇
●ジャングリストフ 闇を破つて 三浦關造譯　一、三〇
●日常衛生若き婦人の心得 吉岡　一、〇〇
●東京の三十年　田山花袋　一、五〇
●光源氏の一生　高須梅溪　六五
●漫畫道中記　岡本一平　六〇
●琵琶名曲集　永田錦心　八〇
●俳諧芭蕉談　西天囚文晩　五〇
●いたづら小僧日記 おてんば娘日記 合本　佐々木邦　七〇
●日本世界見物　澁川玄耳　一、二五

京城本町一丁目（振替京城二五七、電話一四〇） 大阪屋號書店

土蔵あり保管安全 まちや 勧業貯蓄債券高價買入 明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通 南質店 特別丁寧に預る

外科 一般花柳病科 内科 一般皮膚病科 普通及隔離病室完備 診察夜九時迄 京城旭町一丁目（本通り左に入る） 島崎病院 電話二十三六番

參謀總長上原勇作閣下題辭 陸軍大臣大島健一閣下題辭 陸軍一等主計由田久太郎著 新刊 近時の戰爭 四六版並製 定價五十錢 郵税金六錢 發賣

戰爭に關する唯一の虎の巻

開闢以來幾千年、世界の歴史は殆ど戰爭を以て終始すと云ふも妨げず。國家の對立と人類の生存とに於て、戰爭は到底防遏す可からざると與に、かた之を除知すること如き、誰か此事あるを豫知せんや。されば世界列國が常に平和の日に於て、戰備に汲々たるもの固より其所也。本書は戰爭の本義、戰爭發生の原因、戰爭の種別、戰爭勝敗の原因等に就て、著者が專門的知識を傾注して論明したるもの、一般國民に對して戰爭に關する知識と概念とを與ふるに於て餘りあるのみならず、特に戰爭の勝敗の因て以て岐るゝ、因山に就ては、著者が軍事的專門の立場より見て、列國の情勢と日本の現狀とを對照し、世界的大動亂の今日、我が六千萬同胞の發醒發奮を促して止まず、世界の言切語以て一讀すべき要書也

發行所 京城太平通一丁目 民友社 振替口座 東京一三一〇〇
發賣所 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

皮膚病 麻疾 黴毒 泌尿器科 注射療法 手術 並に内外科一般診療 京城太平通二丁目 扇田醫院 院長 醫學士 扇田豐 電話二三五八番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、晒曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 臨電話九七三番 振替口座京城一〇〇四番

桃谷研究所製
にきびとり
美顔水
心ある家庭には是非常用せられたき皮膚衛生薬

(一)ニキビ、吹出物＝婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此薬は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。

(二)蚤、蚊、南京虫＝其他毒のある虫に螫された時、此薬を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺わず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。

(三)皮膚を美しくす＝斯ういふ薬ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を増す力が強いので、此薬は心ある家庭には常備せられて居ります。

大阪 東京 桃谷順天館

定價	
特大瓶	壹圓
大瓶	五拾錢
中瓶	廿五錢
小瓶	拾貳錢

資本金壹百萬圓
株式會社 京城 漢湖農工銀行
支配人 遠山熙
不動産抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店 開城、春川、大田、江景、公州
所在地 清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

内科 小兒科 入院隨意 京城府龍山元町 槃野醫院 電話二〇四番

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通） 酒井婦人病院 院長 酒井一郎 電話一八番 二六〇番 入院隨意

御料 御園白粉

御園白粉

御園白粉の類なき特色

御園白粉は普通の白粉に比べますと分子が細かいのでノリとノビとが非常によく、誰方の肌にも濃くも淡くも思の儘に美しく着き、其御化粧榮えは至つて高尚で、之を缺かさずお粧け遊ばすと

肌理を細かく滑かにし
お顔の色艶を麗しくし
眞から色を白く美しく

すると云ふ特色のある事は御園白粉の愛用者が殘らずお認めになつておいでになります。尚御化粧する前に白粉下御園クレームをお塗け遊ばすと、一層晴やかで高尚な御化粧榮えが致します

本鋪 御料御園白粉 伊東胡蝶園
發賣元 御料御園白粉 丸見屋商店

(260)